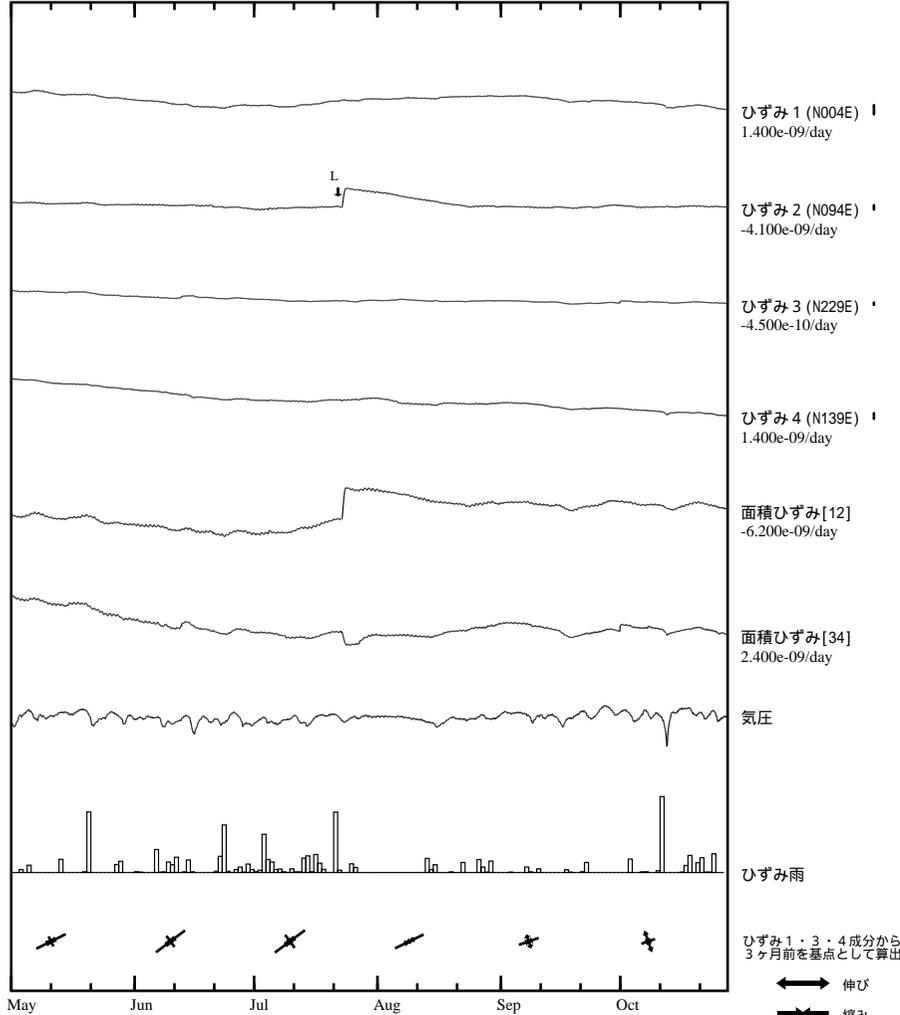


浜松宮口 ひずみ変化 時間値

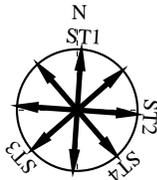
・気圧、潮汐、降水、地磁気補正データ

Exp.
↑ 100 nstrain
30 hPa
50 mm/day



・特記事項なし。

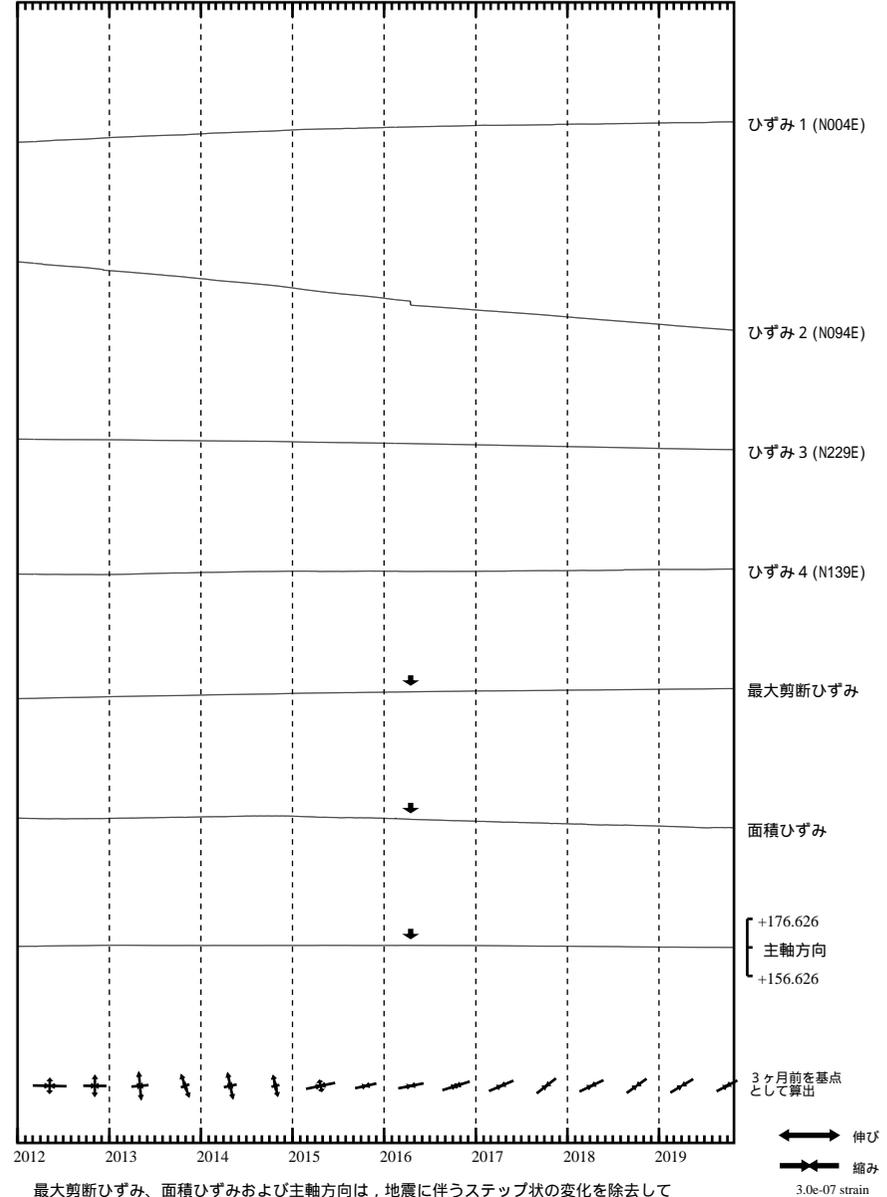
- C : 地震に伴うステップ状の変化
- L : 局所的な変化
- S : 例年見られる変化
- M : 調整
- T : 障害



浜松宮口 ひずみ変化 日値

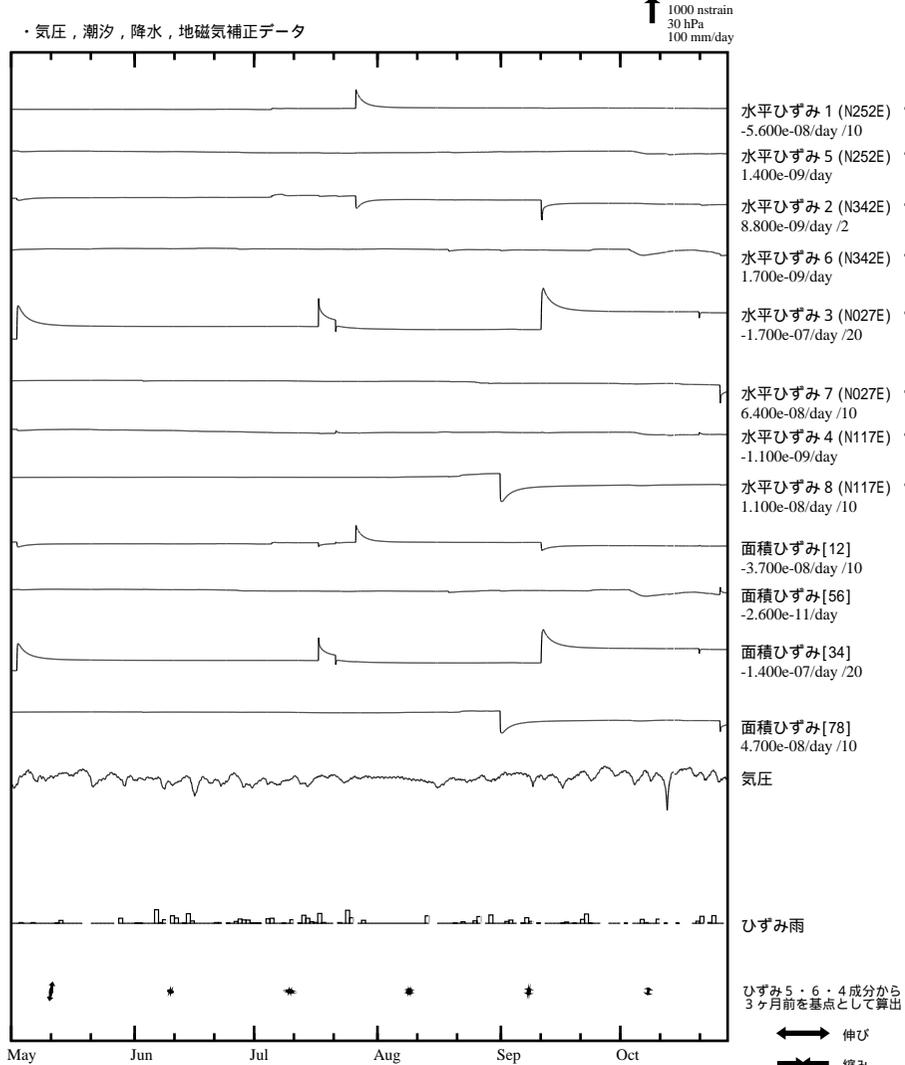
・最大剪断ひずみ、面積ひずみおよび主軸方向は
ひずみ 1・3・4の各方向成分から2002年7月1日を基点として算出

Exp.
↑ 5000 nstrain



最大剪断ひずみ、面積ひずみおよび主軸方向は、地震に伴うステップ状の変化を除去して計算している。

静岡落合 ひずみ変化 時間値

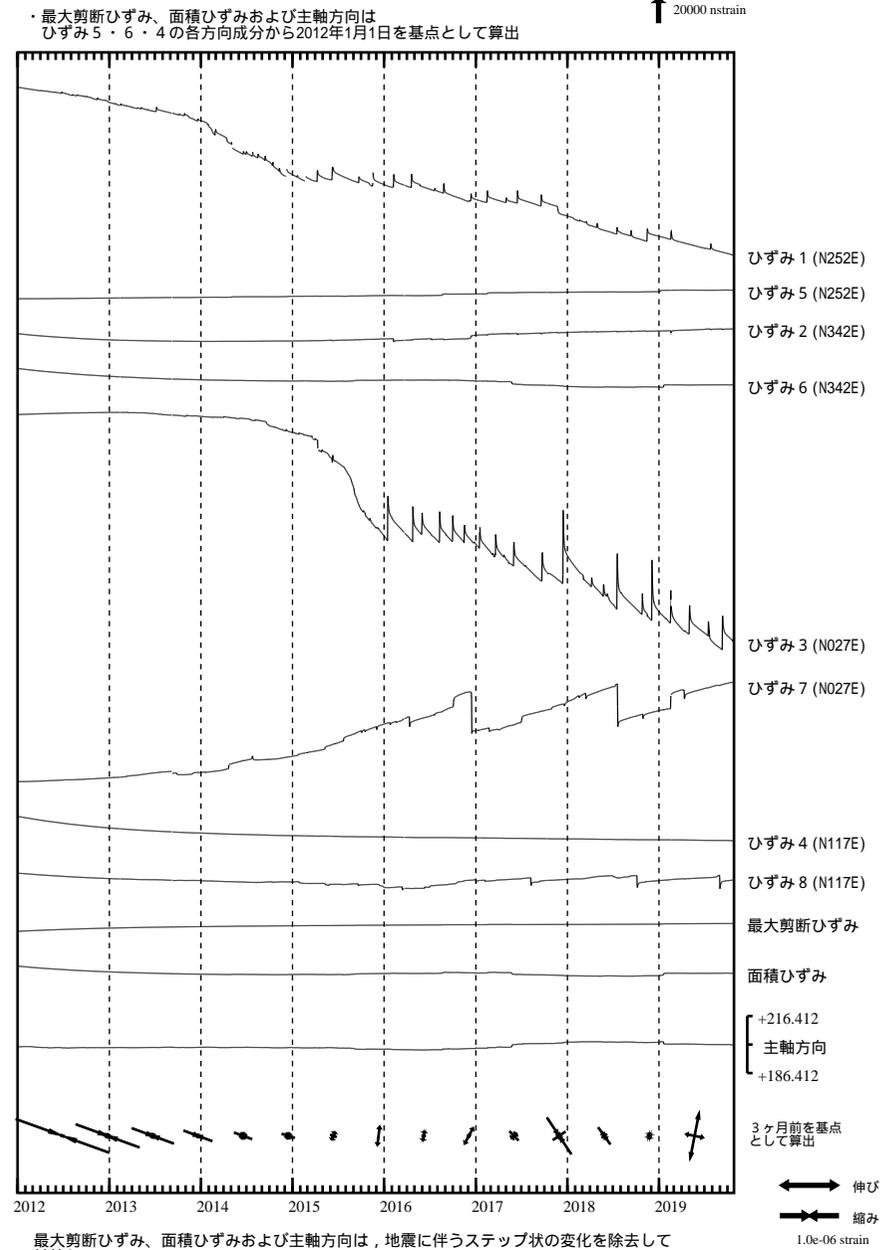


・特記事項なし。

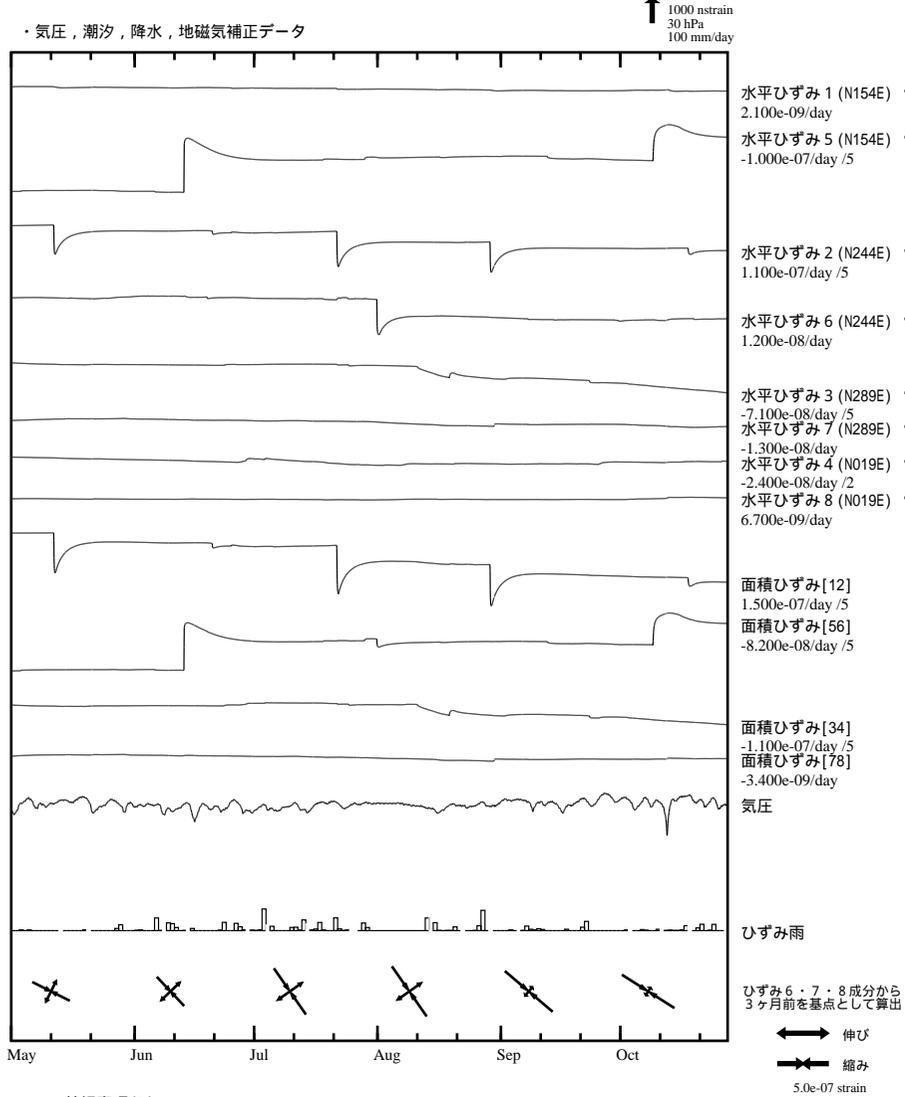
- C : 地震に伴うステップ状の変化
- L : 局所的な変化
- S : 例年見られる変化
- M : 調整
- T : 障害



静岡落合 ひずみ変化 日値



藤枝蔵田 ひずみ変化 時間値

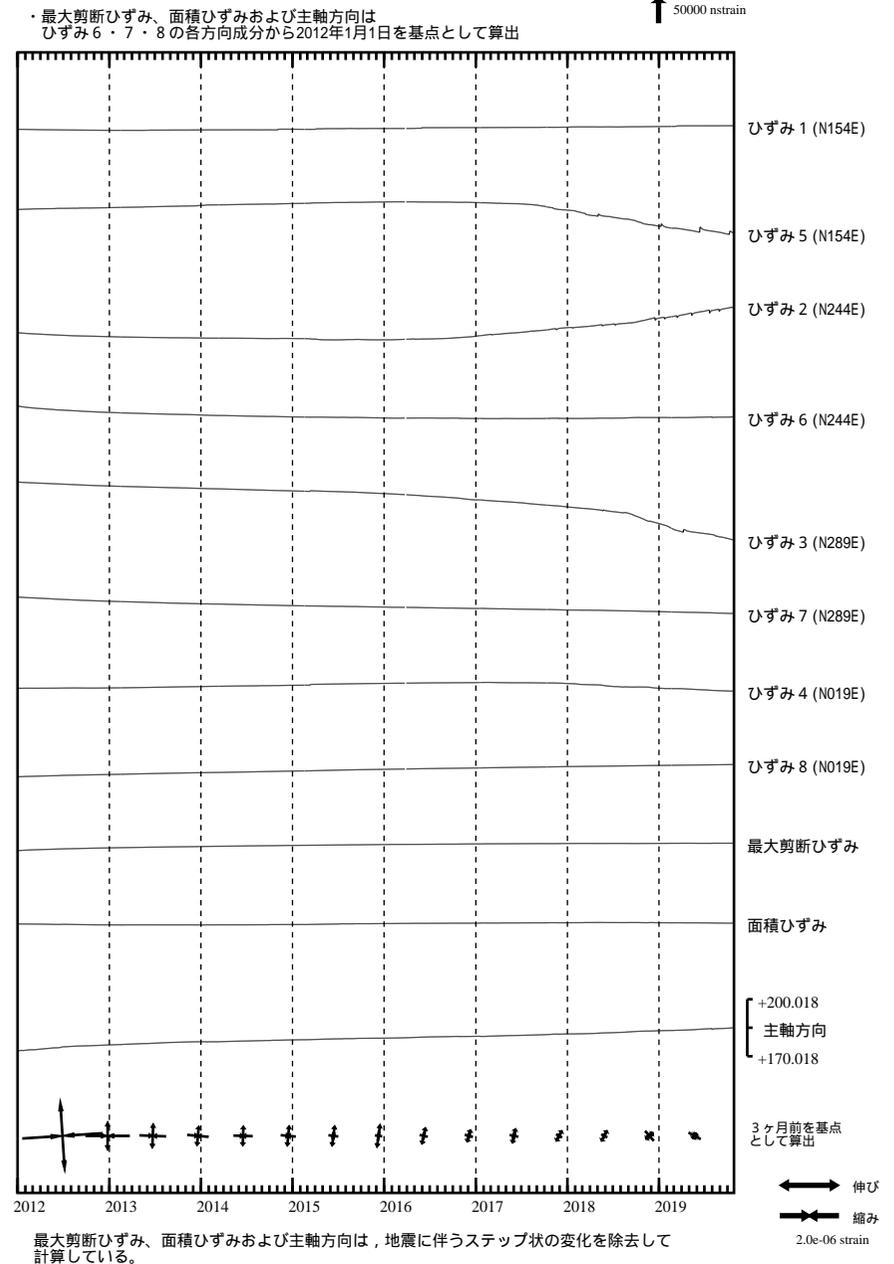


・特記事項なし。

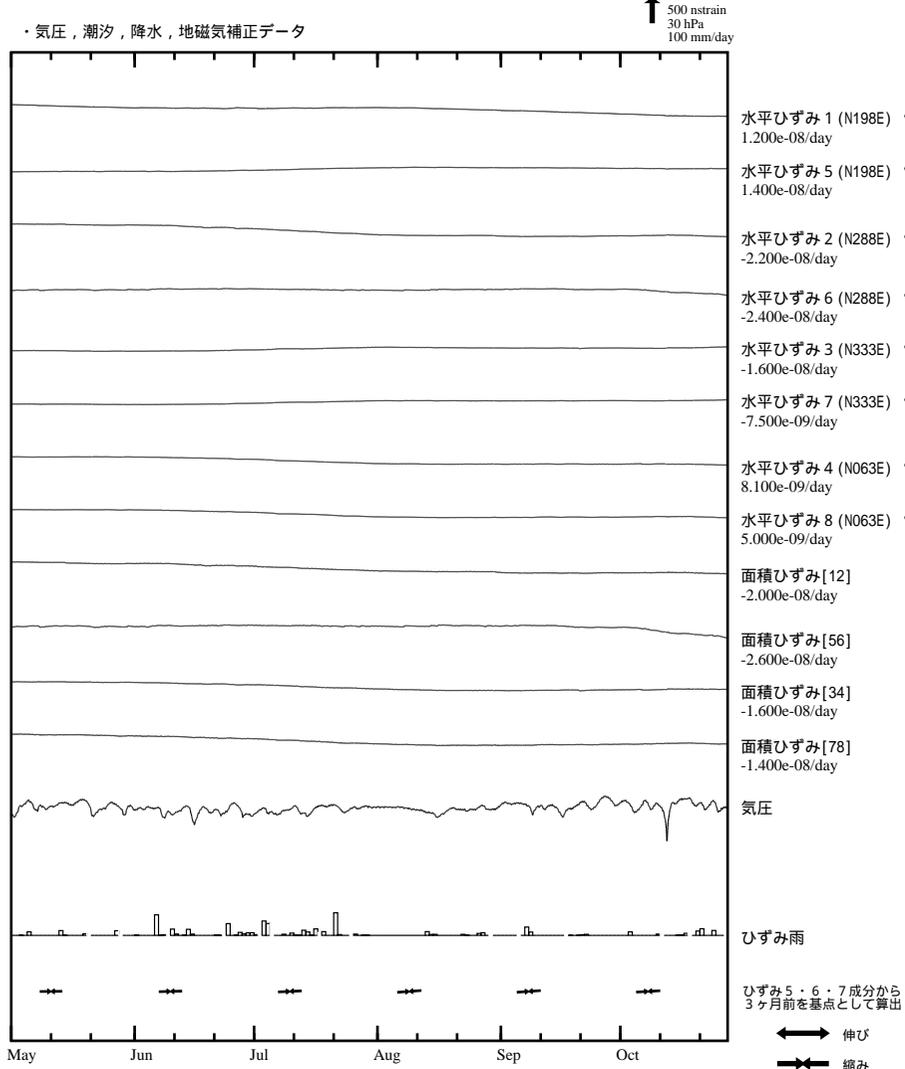
- C : 地震に伴うステップ状の変化
- L : 局所的な変化
- S : 例年見られる変化
- M : 調整
- T : 障害



藤枝蔵田 ひずみ変化 日値

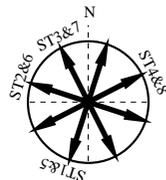


掛川高天神 ひずみ変化 時間値

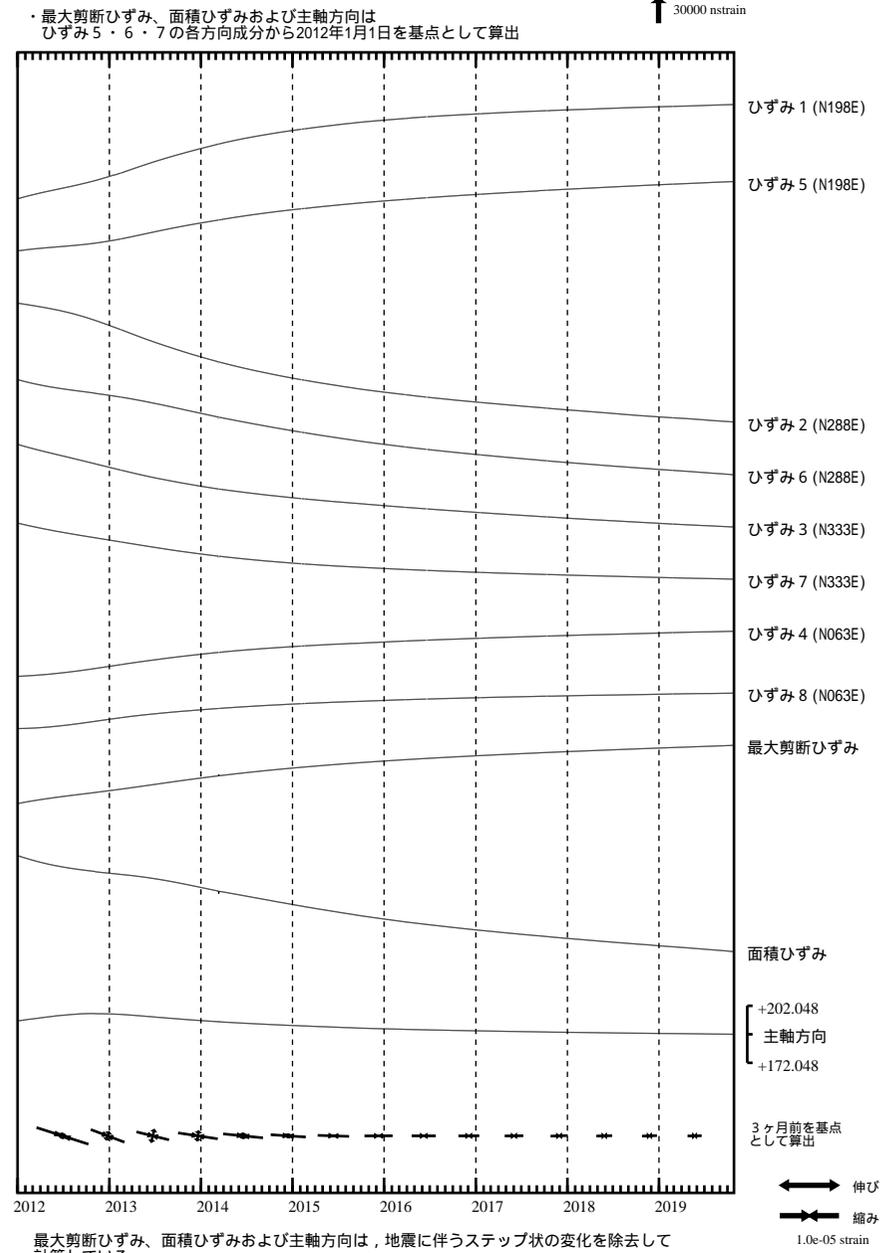


・ 特記事項なし。

- C : 地震に伴うステップ状の変化
- L : 局所的な変化
- S : 例年見られる変化
- M : 調整
- T : 障害

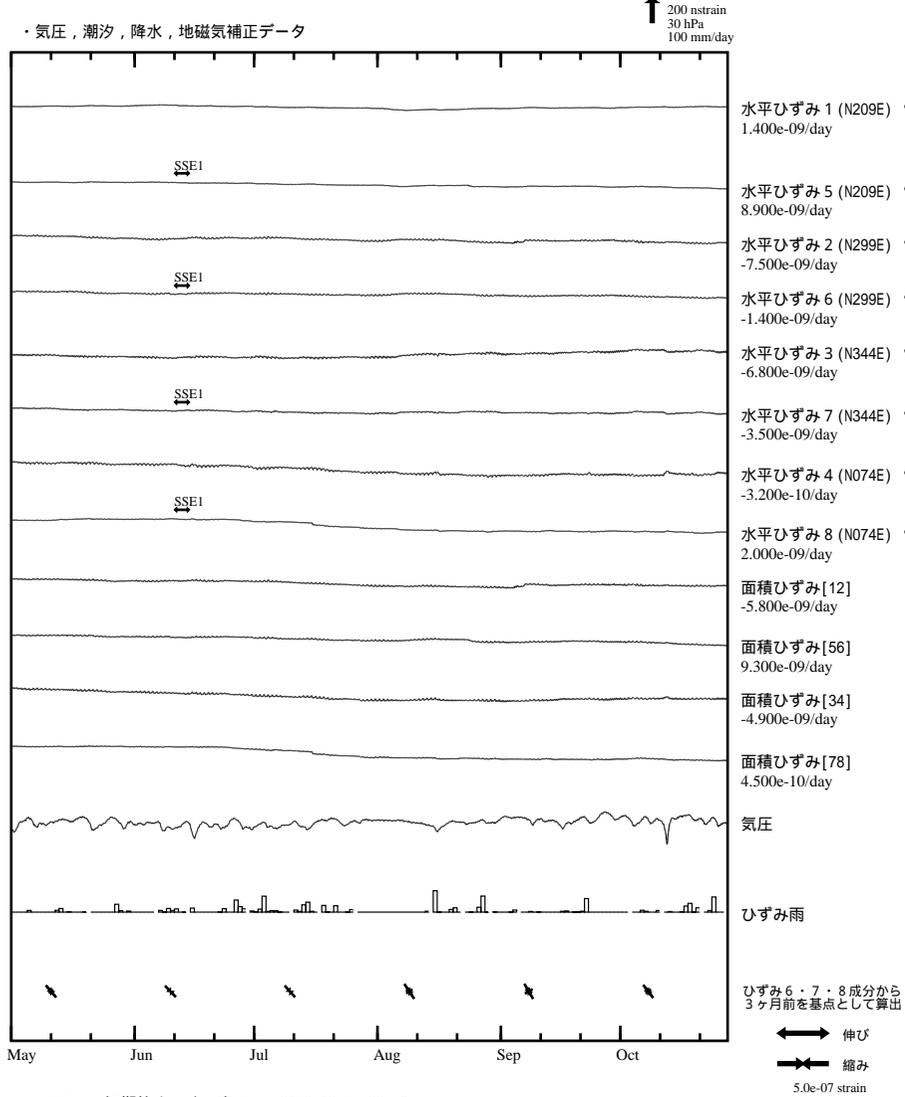


掛川高天神 ひずみ変化 日値



最大剪断ひずみ、面積ひずみおよび主軸方向は、地震に伴うステップ状の変化を除去して計算している。

売木岩倉 ひずみ変化 時間値

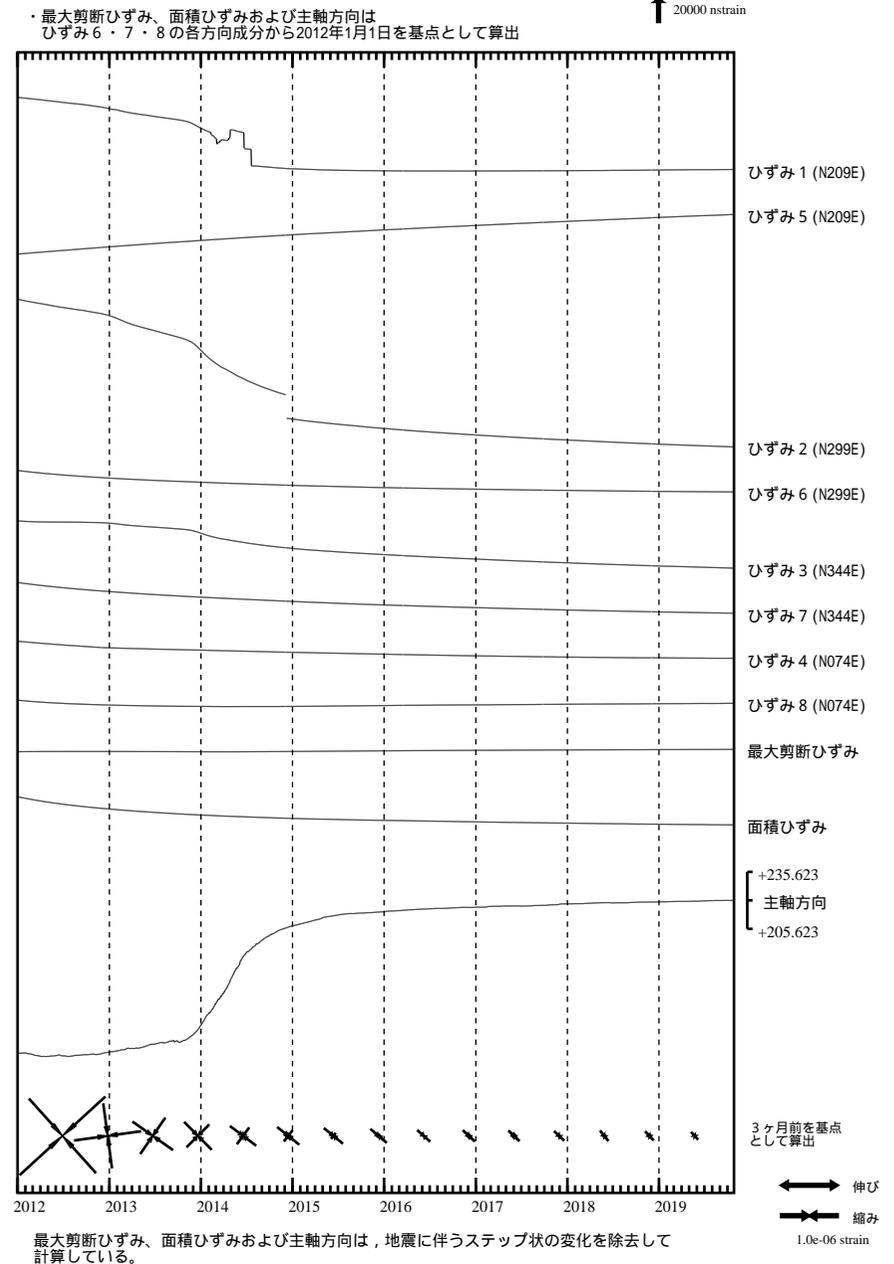


SSE1 : 短期的ゆっくりすべり 2019.06.11-06.15
SSE4 : 短期的ゆっくりすべり 2019.08.03-08.06

C : 地震に伴うステップ状の変化
L : 局所的な変化
S : 例年見られる変化
M : 調整
T : 障害

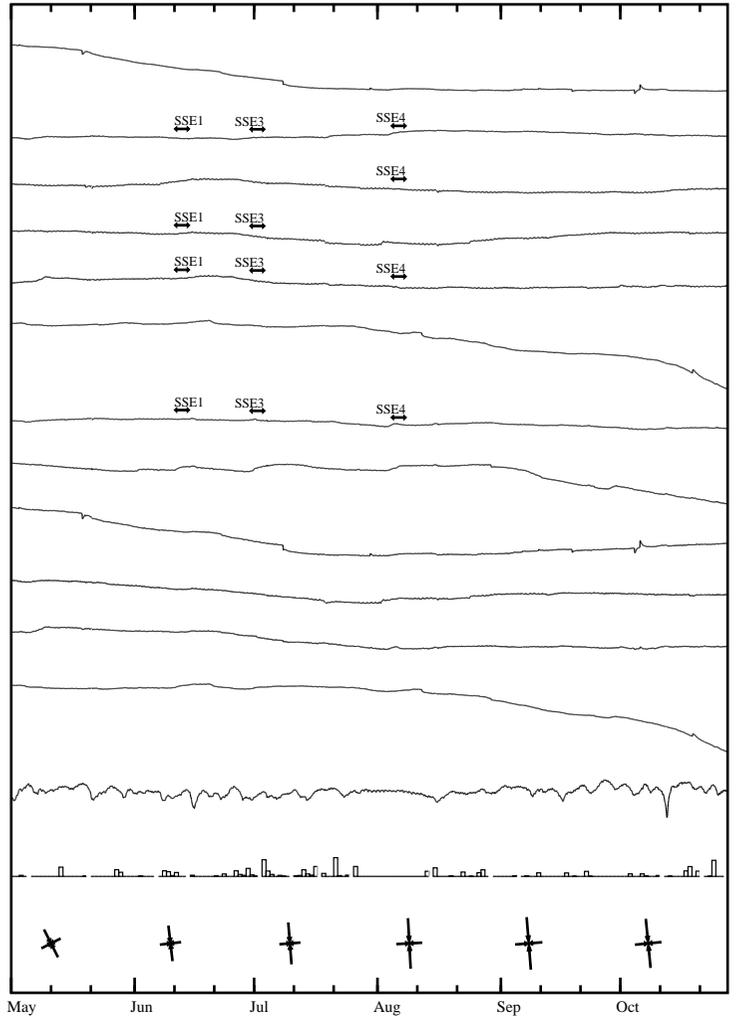


売木岩倉 ひずみ変化 日値



新城浅谷 ひずみ変化 時間値

・気圧、潮汐、降水、地磁気補正データ



Exp. ↑ 200 nstrain
30 hPa
100 mm/day

水平ひずみ 1 (N165E) ・
4.200e-09/day /2

水平ひずみ 5 (N165E) ・
1.400e-09/day

水平ひずみ 2 (N255E) ・
-1.200e-09/day

水平ひずみ 6 (N255E) ・
2.200e-09/day

水平ひずみ 3 (N300E) ・
-5.000e-09/day

水平ひずみ 7 (N300E) ・
-2.500e-08/day /2

水平ひずみ 4 (N030E) ・
-2.500e-09/day

水平ひずみ 8 (N030E) ・
6.900e-09/day

面積ひずみ [12]
2.400e-09/day /2

面積ひずみ [56]
6.800e-09/day

面積ひずみ [34]
-6.200e-09/day

面積ひずみ [78]
-1.300e-08/day /2

気圧

ひずみ雨

ひずみ 2・3・4成分から
3ヶ月前を基点として算出

←→ 伸び
←→ 縮み
5.0e-07 strain

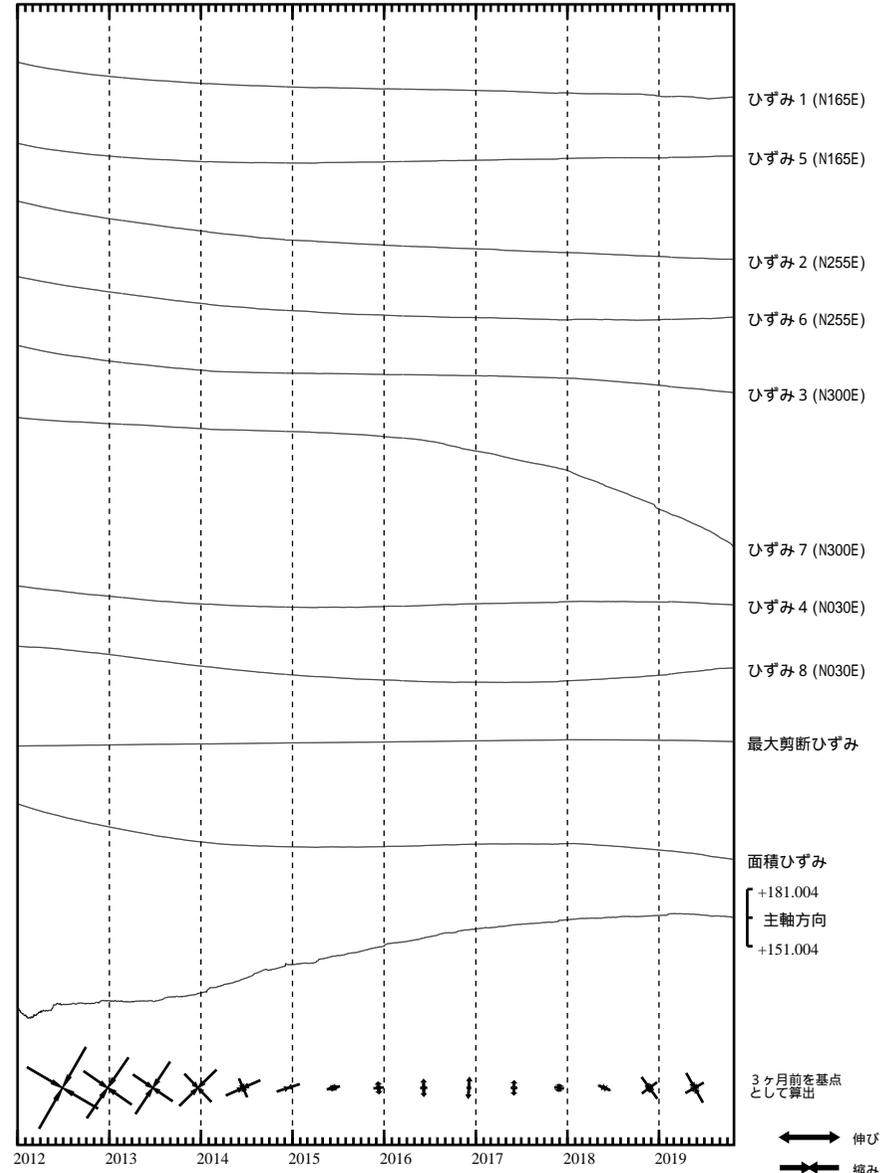
SSE1 : 短期的ゆっくりすべり 2019.06.11-06.15
SSE3 : 短期的ゆっくりすべり 2019.06.29-07.03
SSE4 : 短期的ゆっくりすべり 2019.08.03-08.06

C : 地震に伴うステップ状の変化
L : 局所的な変化
S : 例年見られる変化
M : 調整
T : 障害



新城浅谷 ひずみ変化 日値

・最大剪断ひずみ、面積ひずみおよび主軸方向は
ひずみ 2・3・4の各方向成分から2012年1月1日を基点として算出



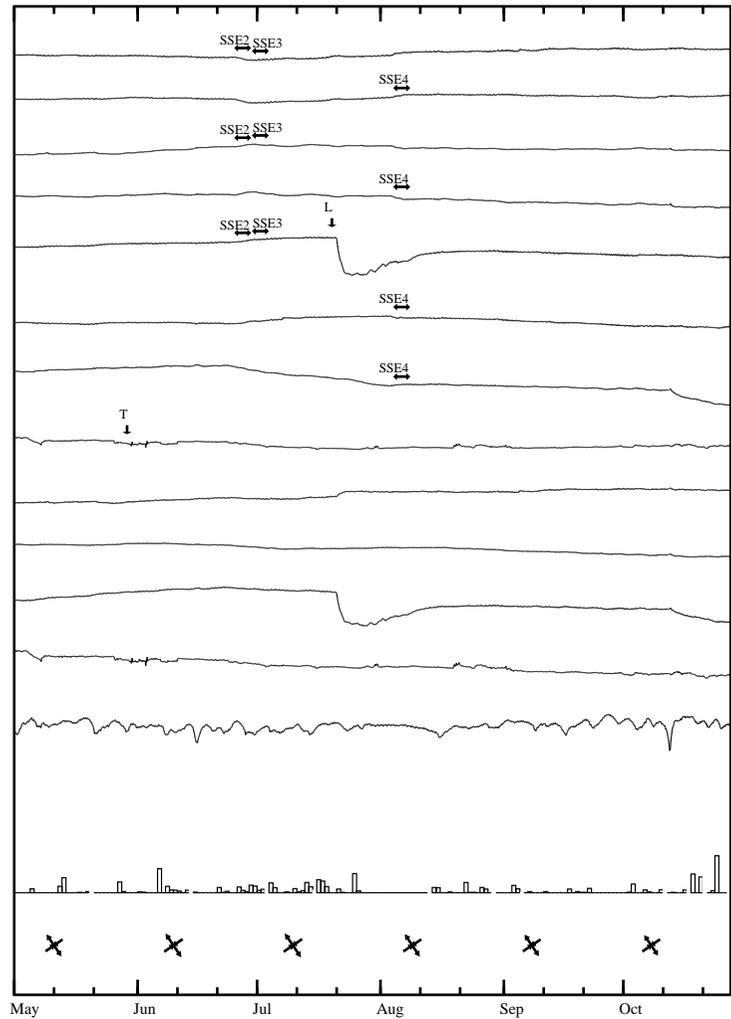
Exp. ↑ 5000 nstrain

最大剪断ひずみ、面積ひずみおよび主軸方向は、地震に伴うステップ状の変化を除去して計算している。

←→ 伸び
←→ 縮み
5.0e-07 strain

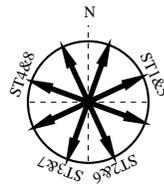
田原高松 ひずみ変化 時間値

・気圧，潮汐，降水，地磁気補正データ



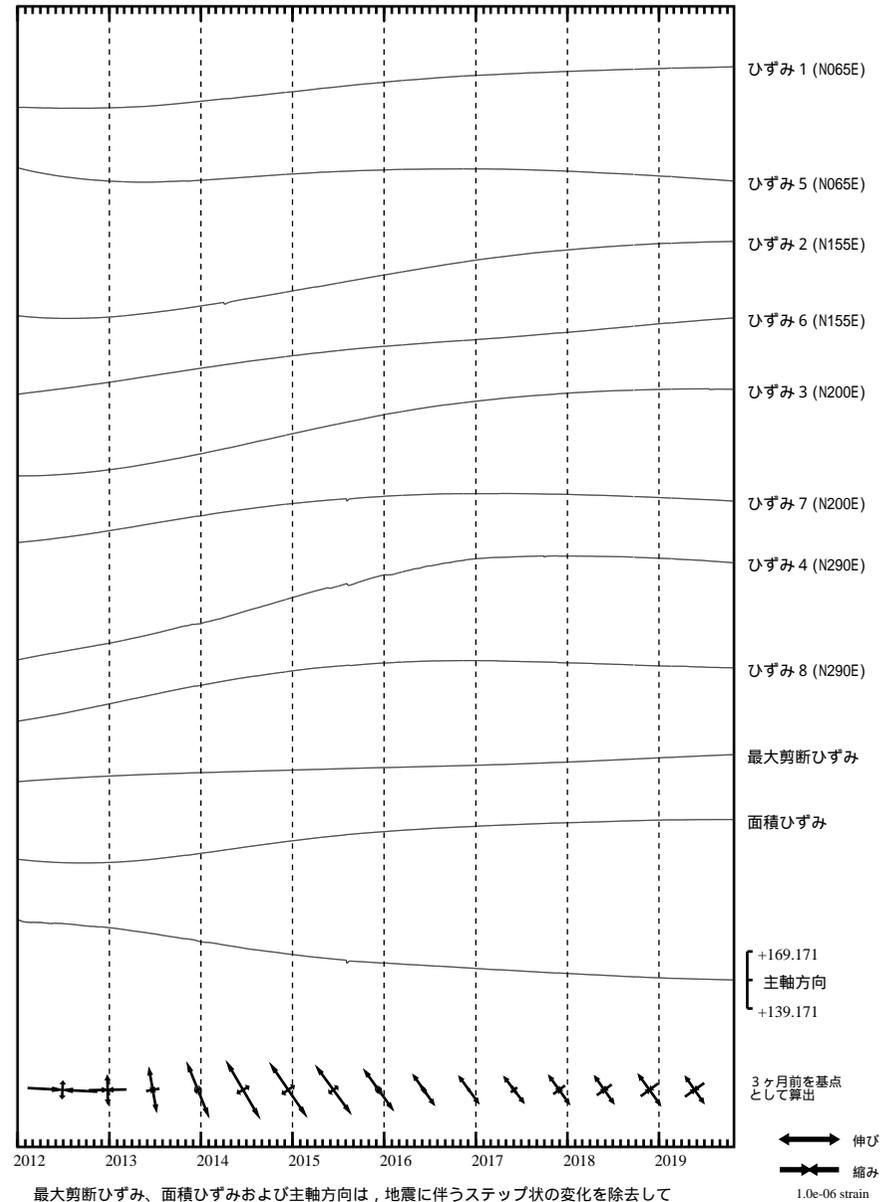
SSE2 : 短期的ゆっくりすべり 2019.06.25-06.28
 SSE3 : 短期的ゆっくりすべり 2019.06.29-07.03
 SSE4 : 短期的ゆっくりすべり 2019.08.03-08.06

C : 地震に伴うステップ状の変化
 L : 局所的な変化
 S : 例年見られる変化
 M : 調整
 T : 障害



田原高松 ひずみ変化 日値

・最大剪断ひずみ、面積ひずみおよび主軸方向はひずみ5・6・7の各方向成分から2012年1月1日を基点として算出

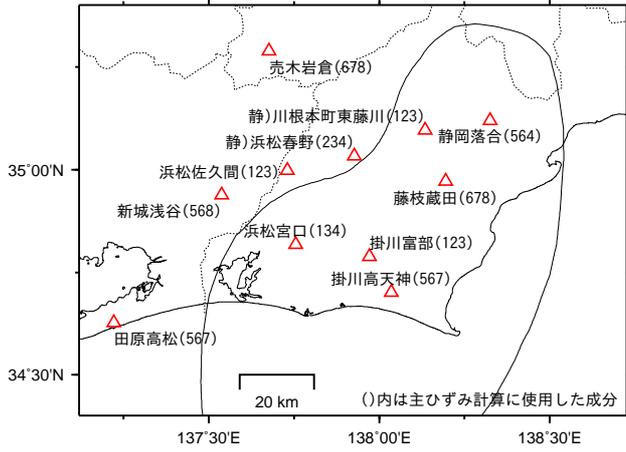


最大剪断ひずみ、面積ひずみおよび主軸方向は、地震に伴うステップ状の変化を除去して計算している。

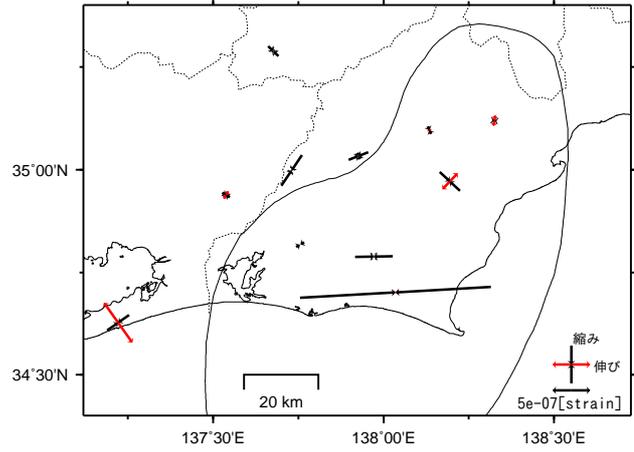
多成分ひずみ計日値による主ひずみ解析結果

(90日間の変化量から算出)

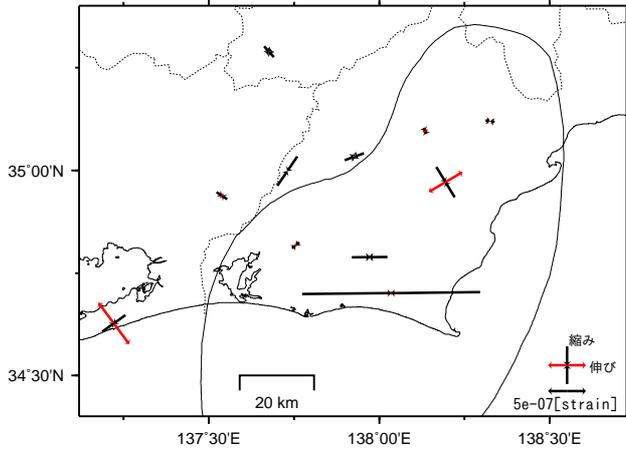
観測点配置図



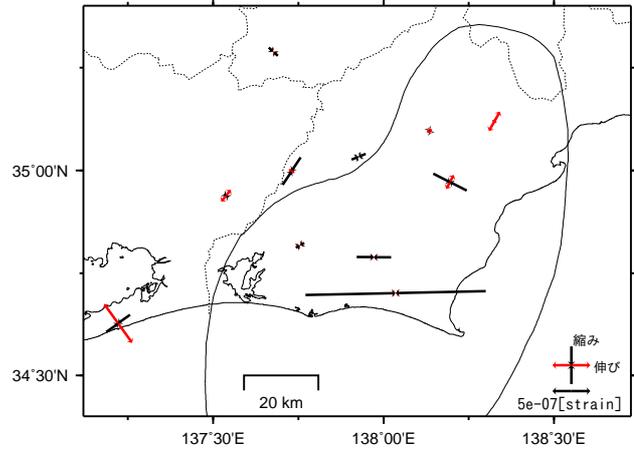
基準日：2018/04/02 比較日：2018/07/01



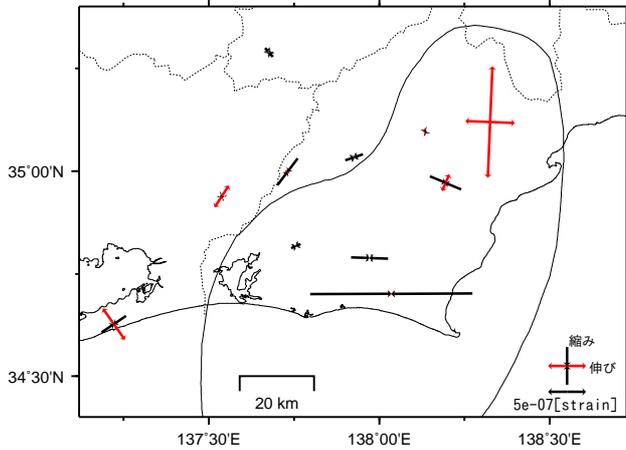
基準日：2018/07/03 比較日：2018/10/01



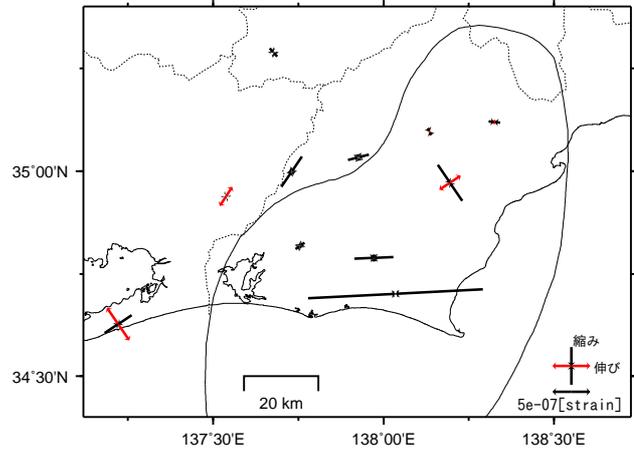
基準日：2018/10/03 比較日：2019/01/01



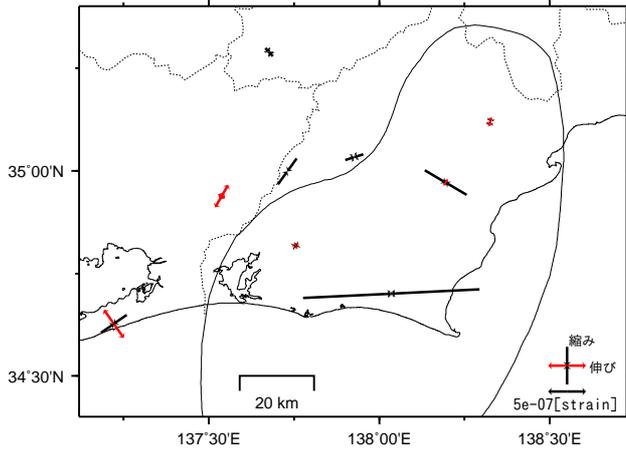
基準日：2019/01/01 比較日：2019/04/01



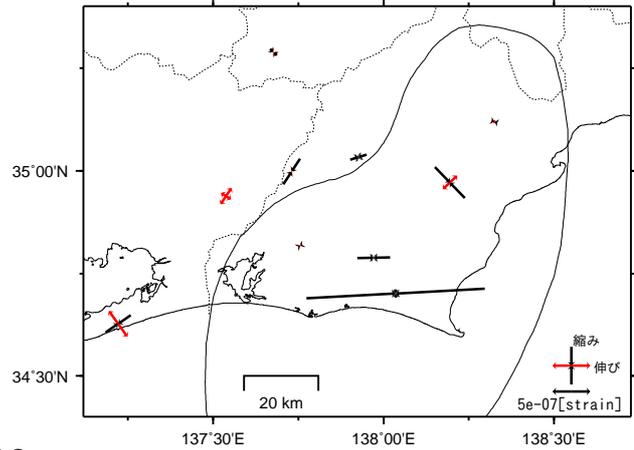
基準日：2019/04/02 比較日：2019/07/01



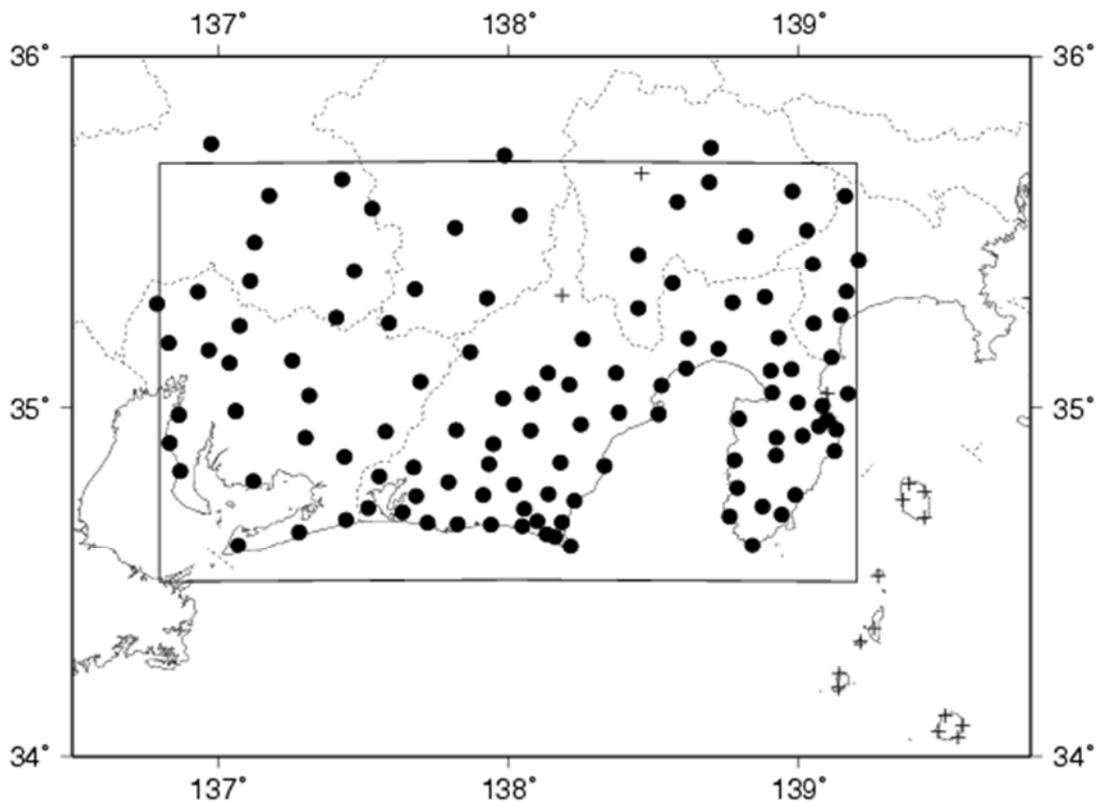
基準日：2019/07/03 比較日：2019/10/01



基準日：2019/08/02 比較日：2019/10/31



GNSS 6時間値による面的監視



対象範囲(内側の矩形内)と使用観測点(●印)。+印の観測点はデータ不安定などにより今回の解析に使用していない。

東海地域におけるGNSS6時間値(国土地理院)を用いて、最近1日間及び1週間の中央値を過去と比較した。異常検知の閾値(ノイズレベル)は、2006年1月～2007年12月の2年間分のデータを元に、1年に1回出現する最大値・最小値を把握できる値を求め設定。

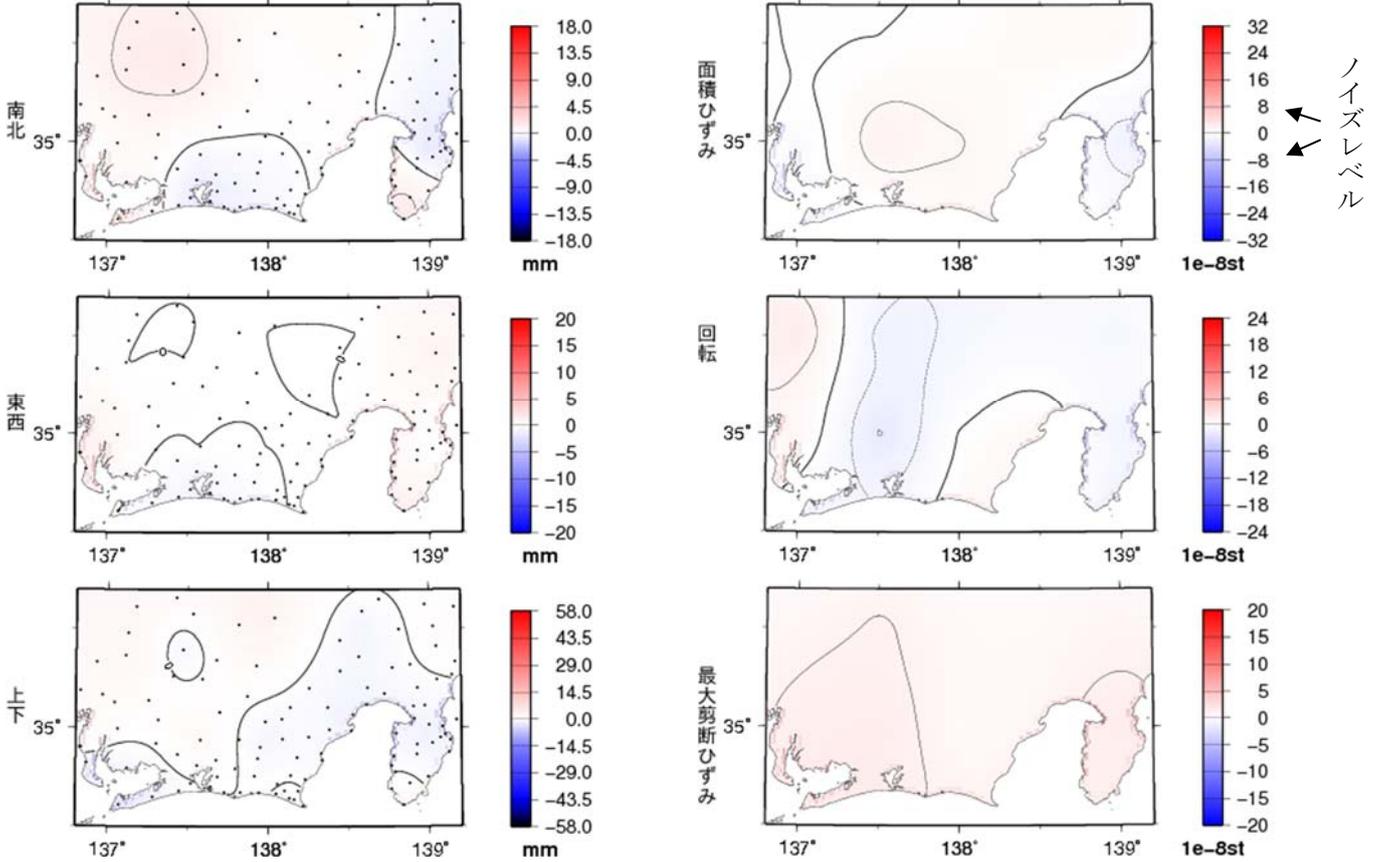
夏季に解析値のばらつきが見られるほかは特に目立った変位は見られない。

※GNSS(Global Navigation Satellite System)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称。

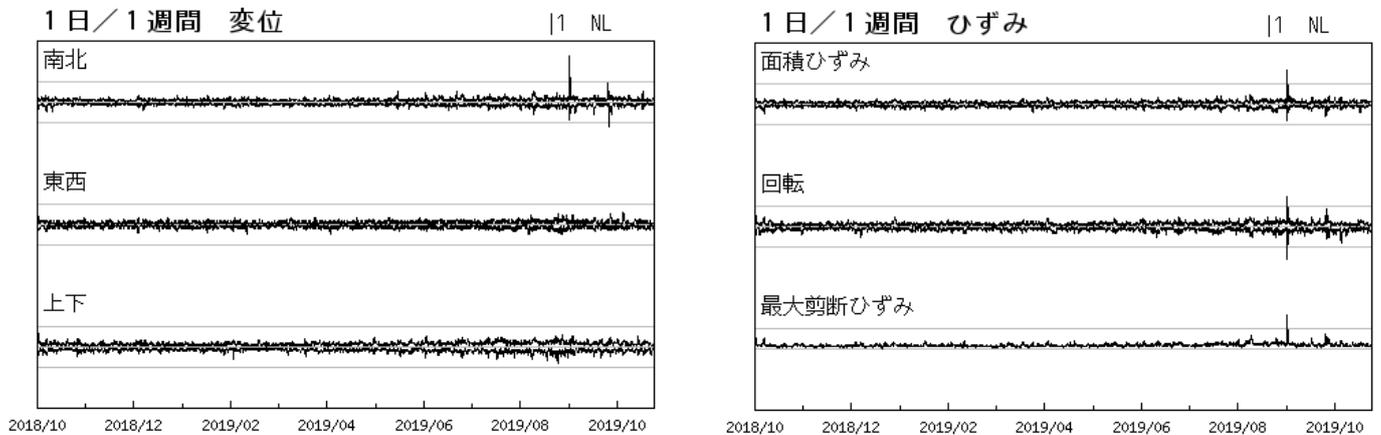
最近1日間とその前1週間との比較

対象期間：2019/10/30 00:00 - 2019/10/31 00:00 UTC (1日)
 基準期間：2019/10/23 00:00 - 2019/10/30 00:00 UTC (1週間)

対象期間：2019/10/30 00:00 - 2019/10/31 00:00 UTC (1日)
 基準期間：2019/10/23 00:00 - 2019/10/30 00:00 UTC (1週間)



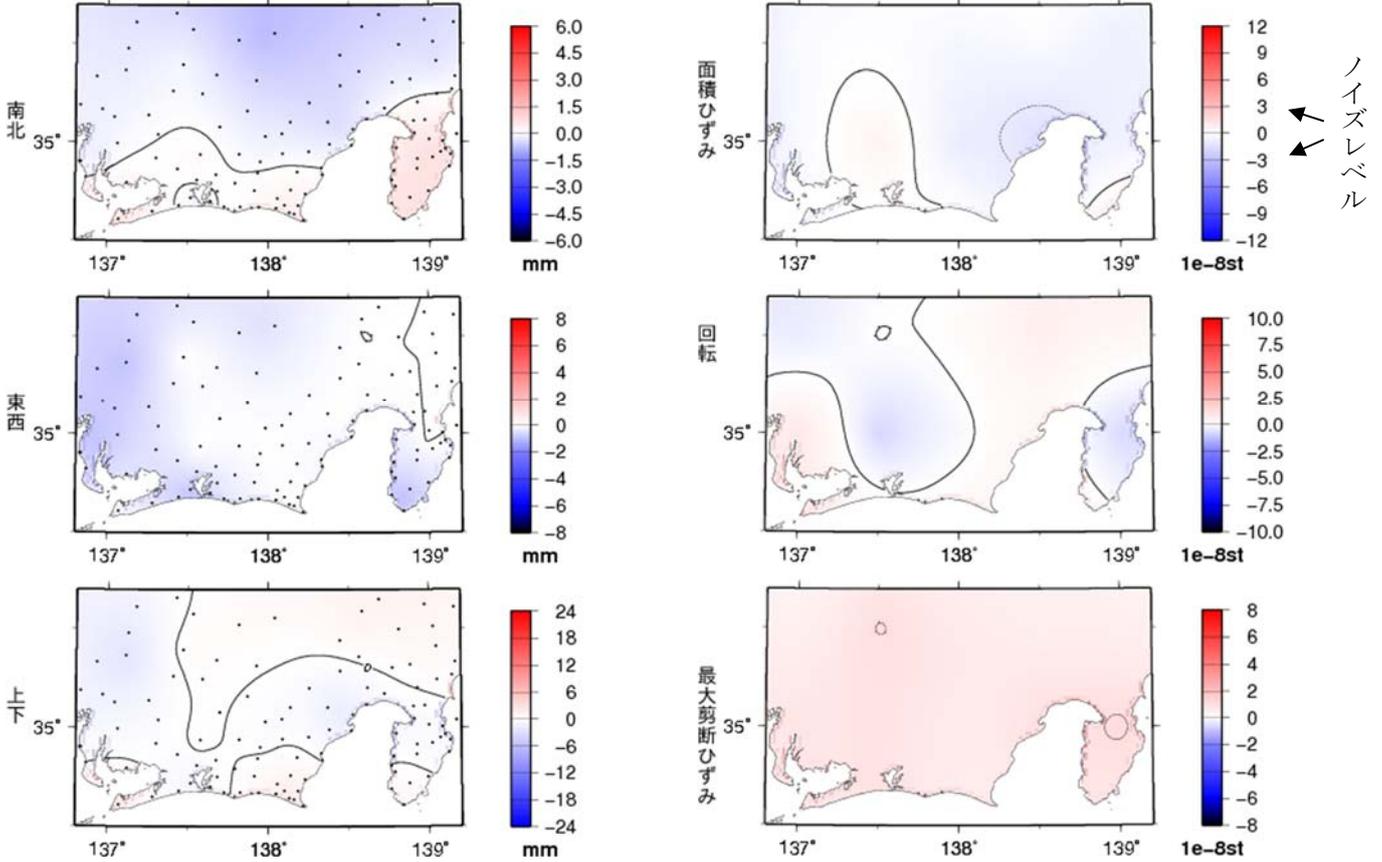
最近1年間(2018年10月1日00:00~2019年10月31日00:00)の 面的監視による対象範囲内の最大値の経過



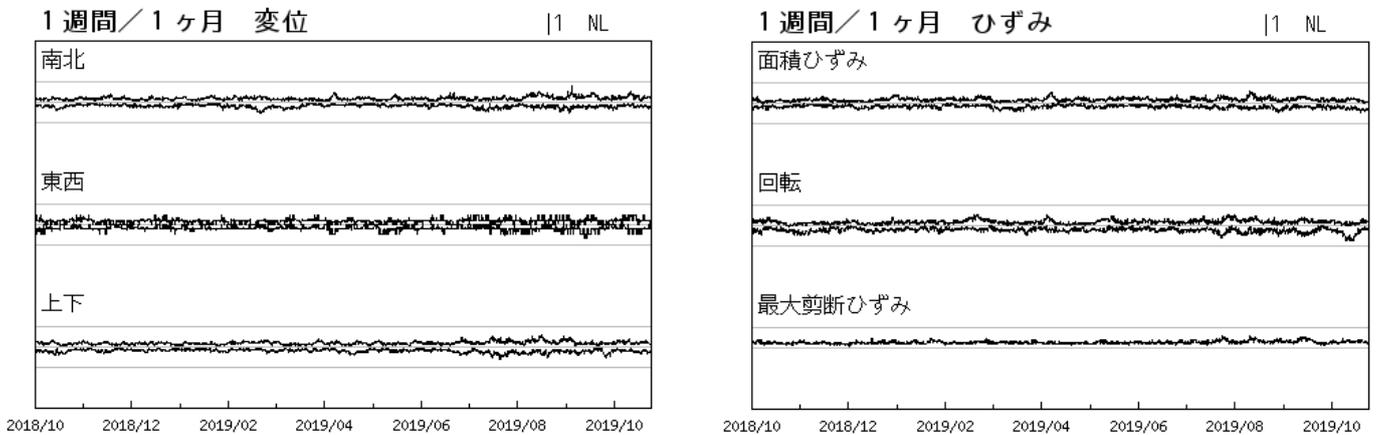
最近1週間とその前1ヶ月間との比較

対象期間：2019/10/24 00:00 - 2019/10/31 00:00 UTC (1週間)
 基準期間：2019/09/24 00:00 - 2019/10/24 00:00 UTC (1ヶ月)

対象期間：2019/10/24 00:00 - 2019/10/31 00:00 UTC (1週間)
 基準期間：2019/09/24 00:00 - 2019/10/24 00:00 UTC (1ヶ月)



最近1年間(2018年10月1日00:00~2019年10月31日00:00)の 面的監視による対象範囲内の最大値の経過



GNSS 日値による面的監視

四国地域で、豊後水道の長期的ゆっくりすべりに伴う変化が見られる。

南海トラフ沿いの地域について東海地域・紀伊半島・四国地域の三つに分け、GNSS日値F3解(国土地理院)を用いて、以下の通り面的監視手法で見た。

- ① 最近1ヶ月間とその前の3ヶ月間との座標変化と水平ひずみ
- ② 最近1ヶ月間と1年前の1ヶ月間との座標変化と水平ひずみ
- ③ 各対象範囲内の最大値の経過

面的監視手法(小林, 2005¹⁾)とは、GNSSデータを用いて以下の手順で解析したものである。

1. 観測点ごとに定常変位と見なされる期間の直線トレンドを除去
2. 主な地震に伴うオフセットを除去
3. 各期間中の中央値から、観測点ごとの座標変化を計算
4. 各領域内の座標変化の中央値を固定値として各観測点の変化量を計算
5. 各領域の外周を変化なしと仮定
6. 緯度経度0.5度ごとに変化量の中央値を求め、スプライン関数で平滑化する
7. 平滑化した格子点データからノイズレベルを算出する
8. 格子点データから水平ひずみを計算
9. 得られた格子点データから等値線図を作成
10. 格子点データの最大値・最小値から時系列グラフを作成

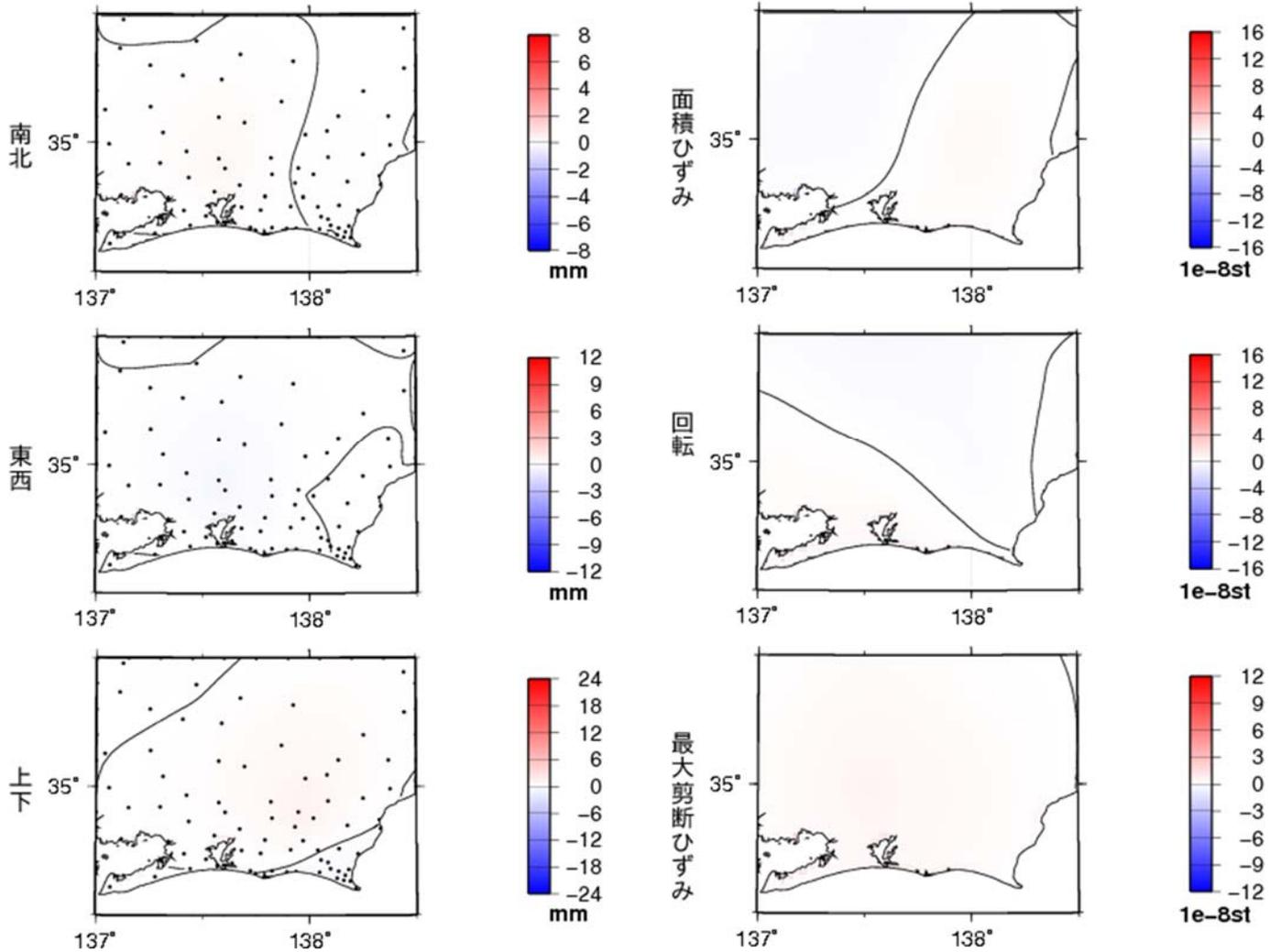
1) 小林昭夫(2005): GPS東海地域3時間解析値の面的監視, 験震時報第68巻第3~4号 P99~104

※GNSS(Global Navigation Satellite System)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称。

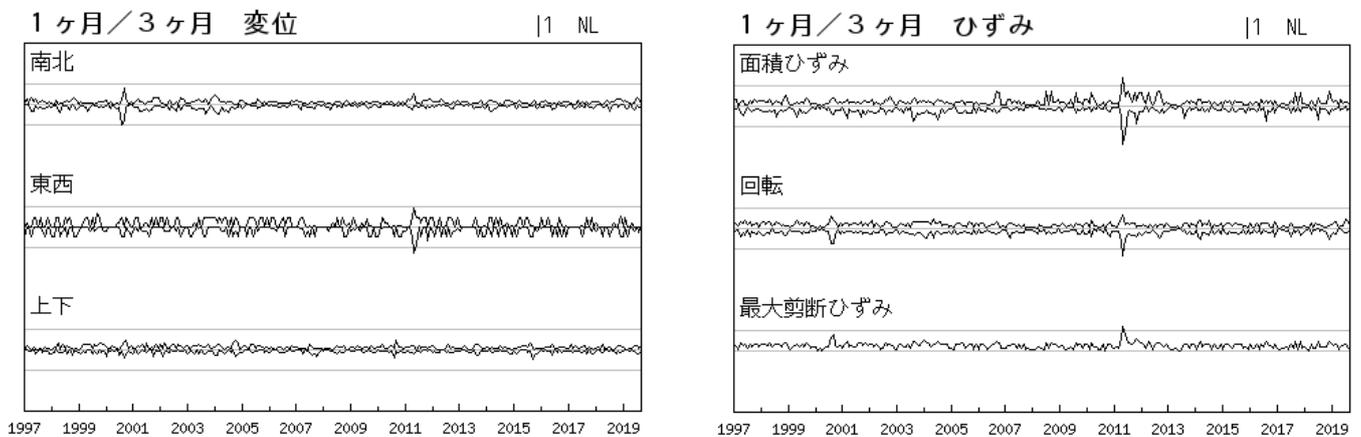
最近2ヶ月間の変位とひずみ — 東海地域 —

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2019/06/14-2019/09/12 (90日)

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2019/06/14-2019/09/12 (90日)



対象範囲内の最大値の経過(1997年1月～2019年10月)

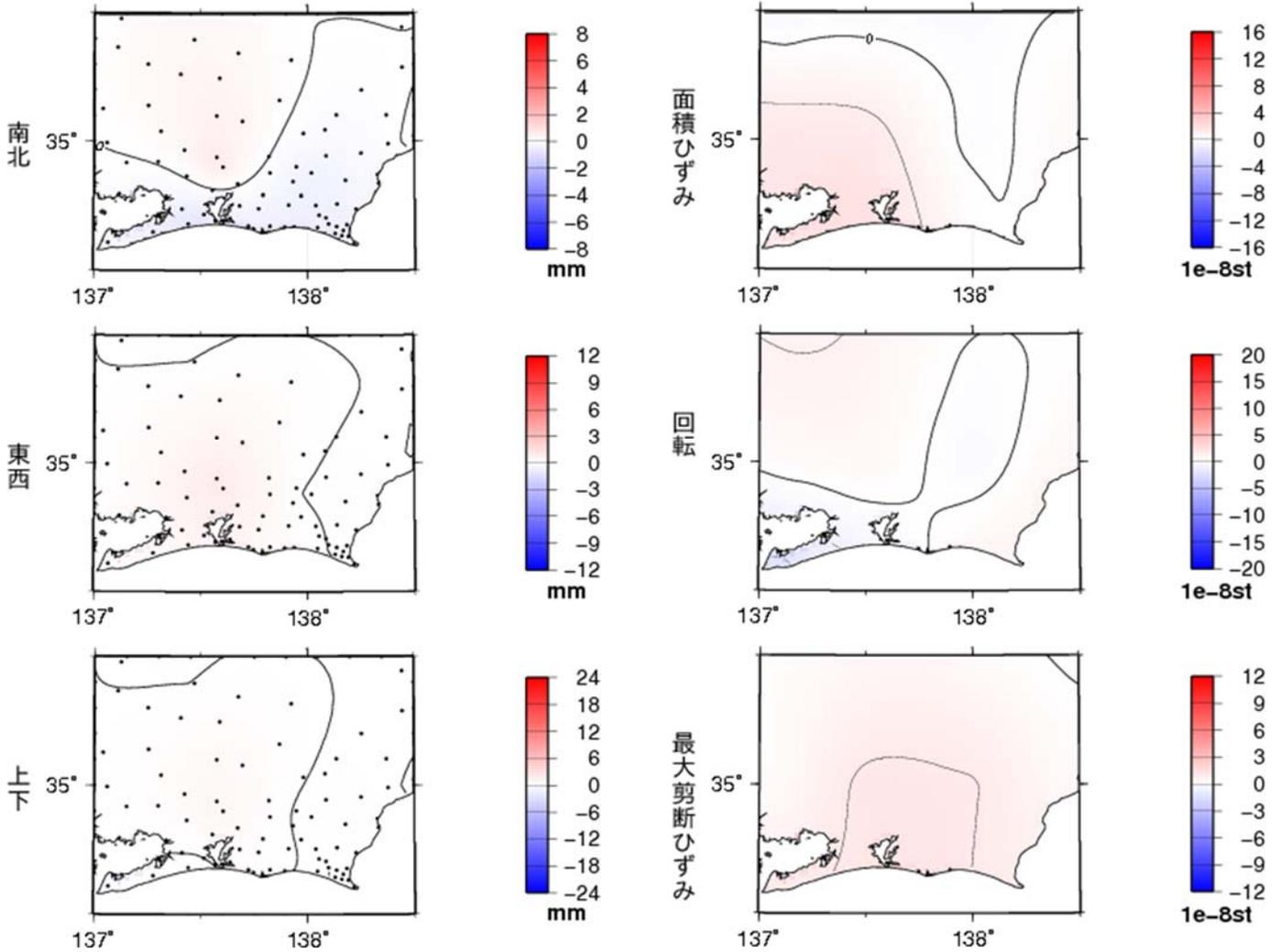


気象庁・気象研究所作成

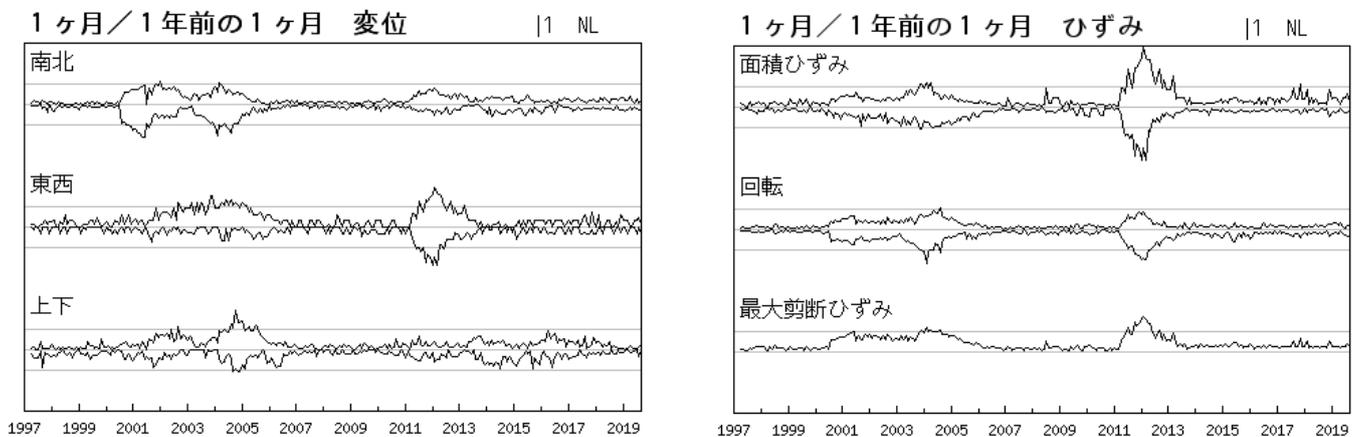
最近1年間の変位とひずみ — 東海地域 —

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2018/09/12-2018/10/12 (1年前)

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2018/09/12-2018/10/12 (1年前)



対象範囲内の最大値の経過(1997年1月～2019年10月)

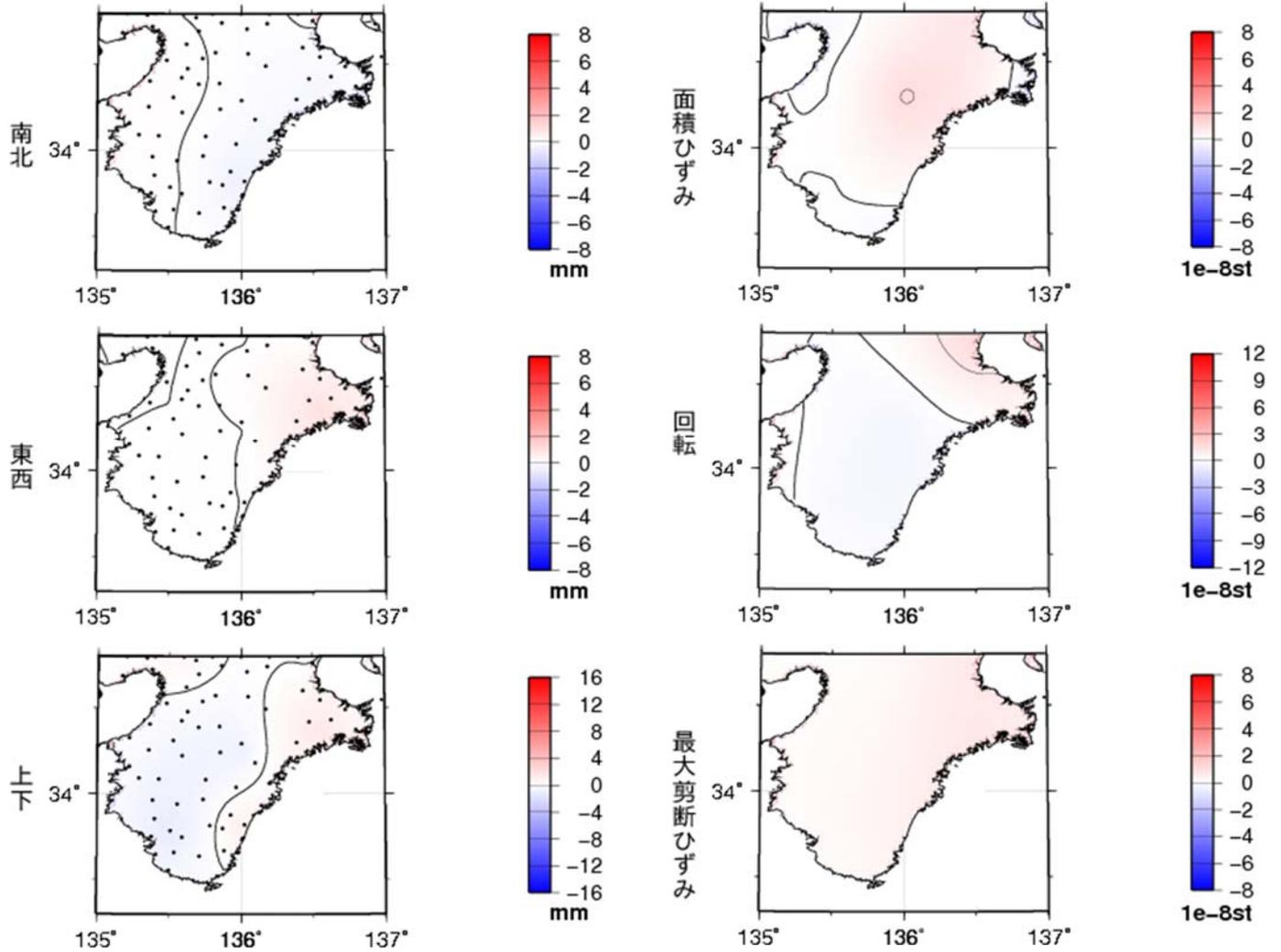


気象庁・気象研究所作成

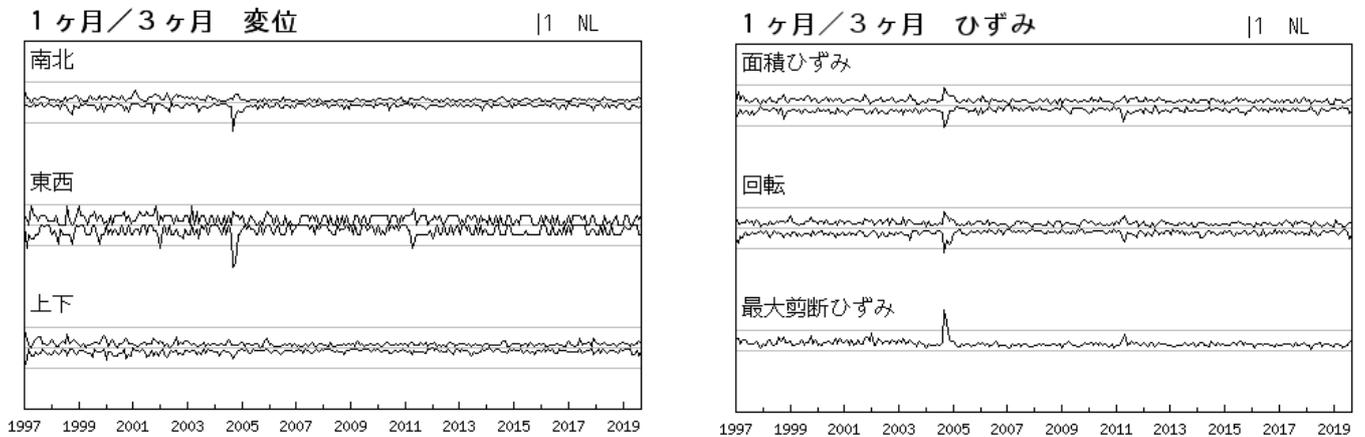
最近2ヶ月間の変位とひずみ — 紀伊半島 —

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2019/06/14-2019/09/12 (90日)

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2019/06/14-2019/09/12 (90日)



対象範囲内の最大値の経過(1997年1月～2019年10月)

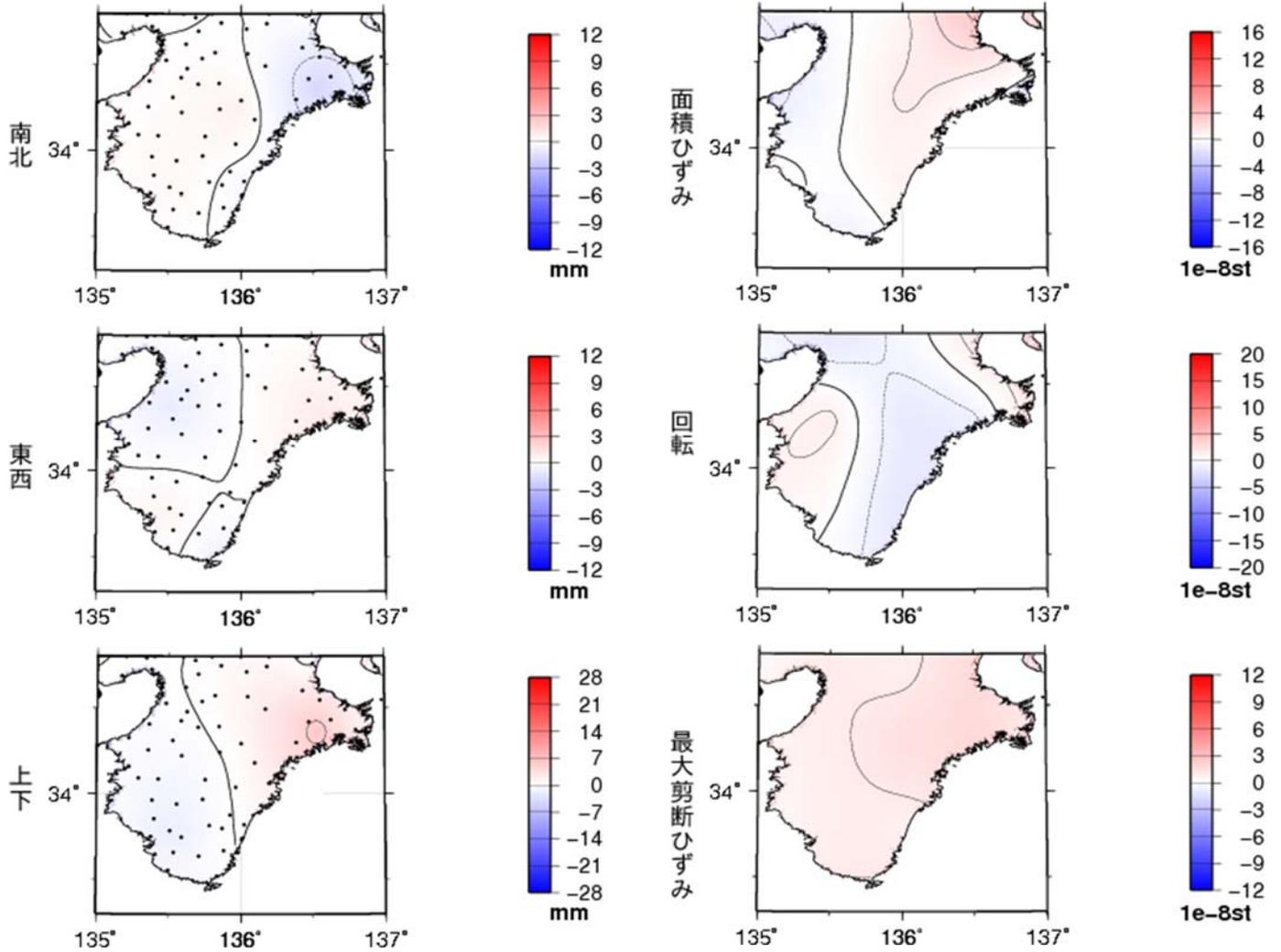


気象庁・気象研究所作成

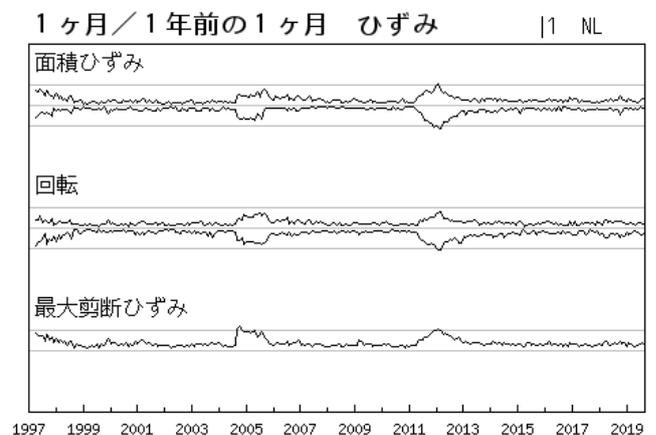
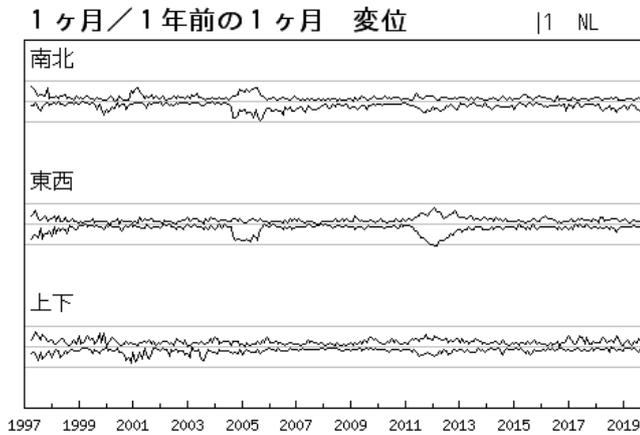
最近1年間の変位とひずみ — 紀伊半島 —

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2018/09/12-2018/10/12 (1年前)

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2018/09/12-2018/10/12 (1年前)



対象範囲内の最大値の経過(1997年1月～2019年10月)

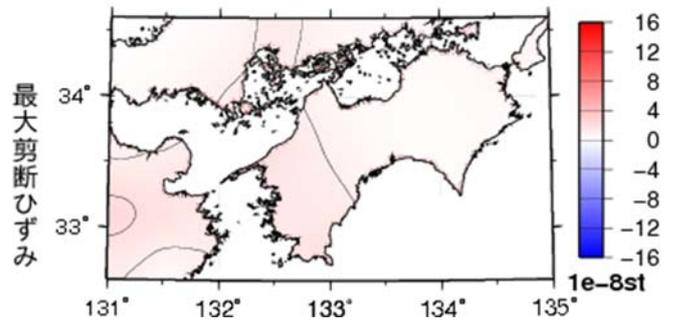
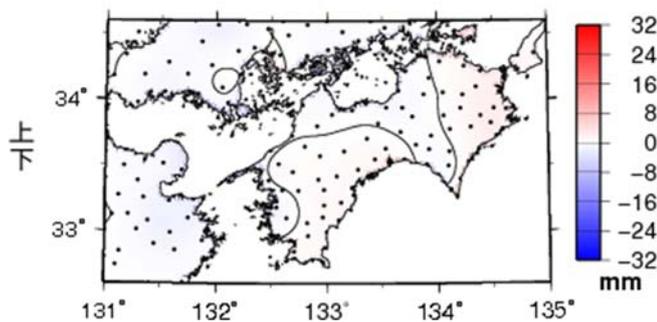
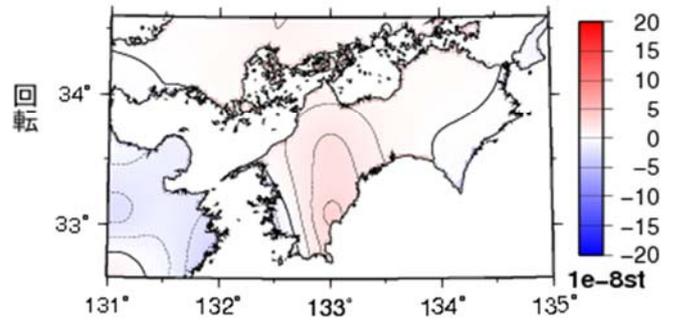
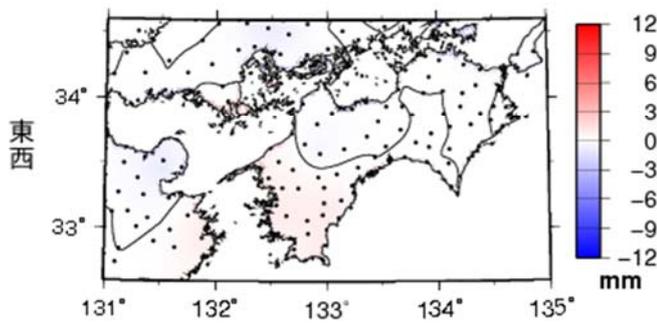
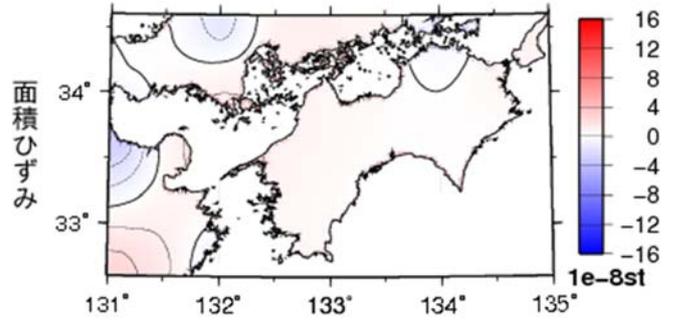
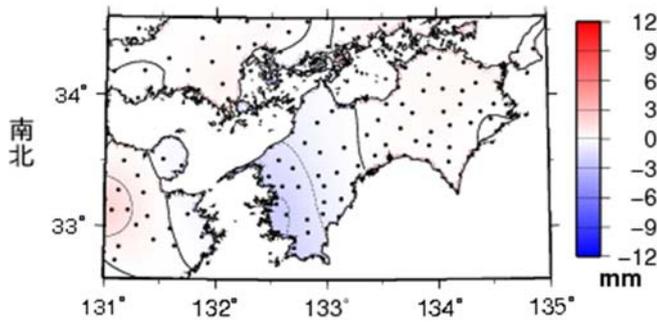


気象庁・気象研究所作成

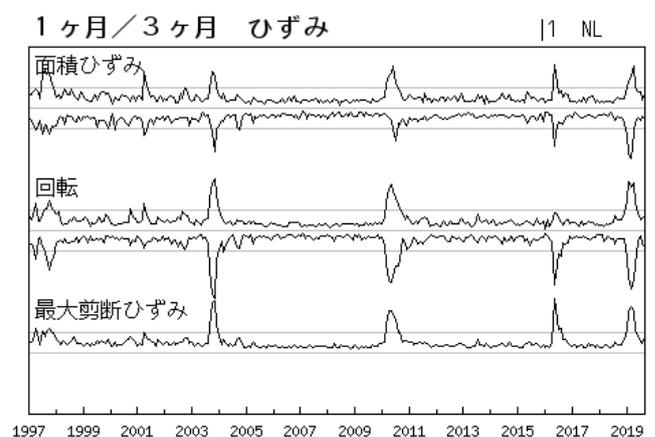
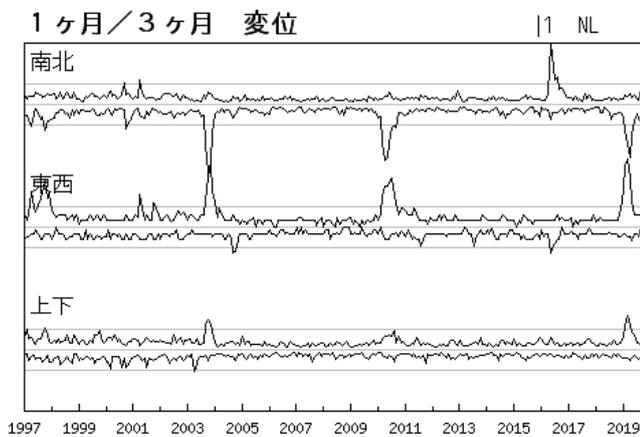
最近2ヶ月間の変位とひずみ — 四国地域 —

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2019/06/14-2019/09/12 (90日)

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2019/06/14-2019/09/12 (90日)



対象範囲内の最大値の経過(1997年1月～2019年10月)

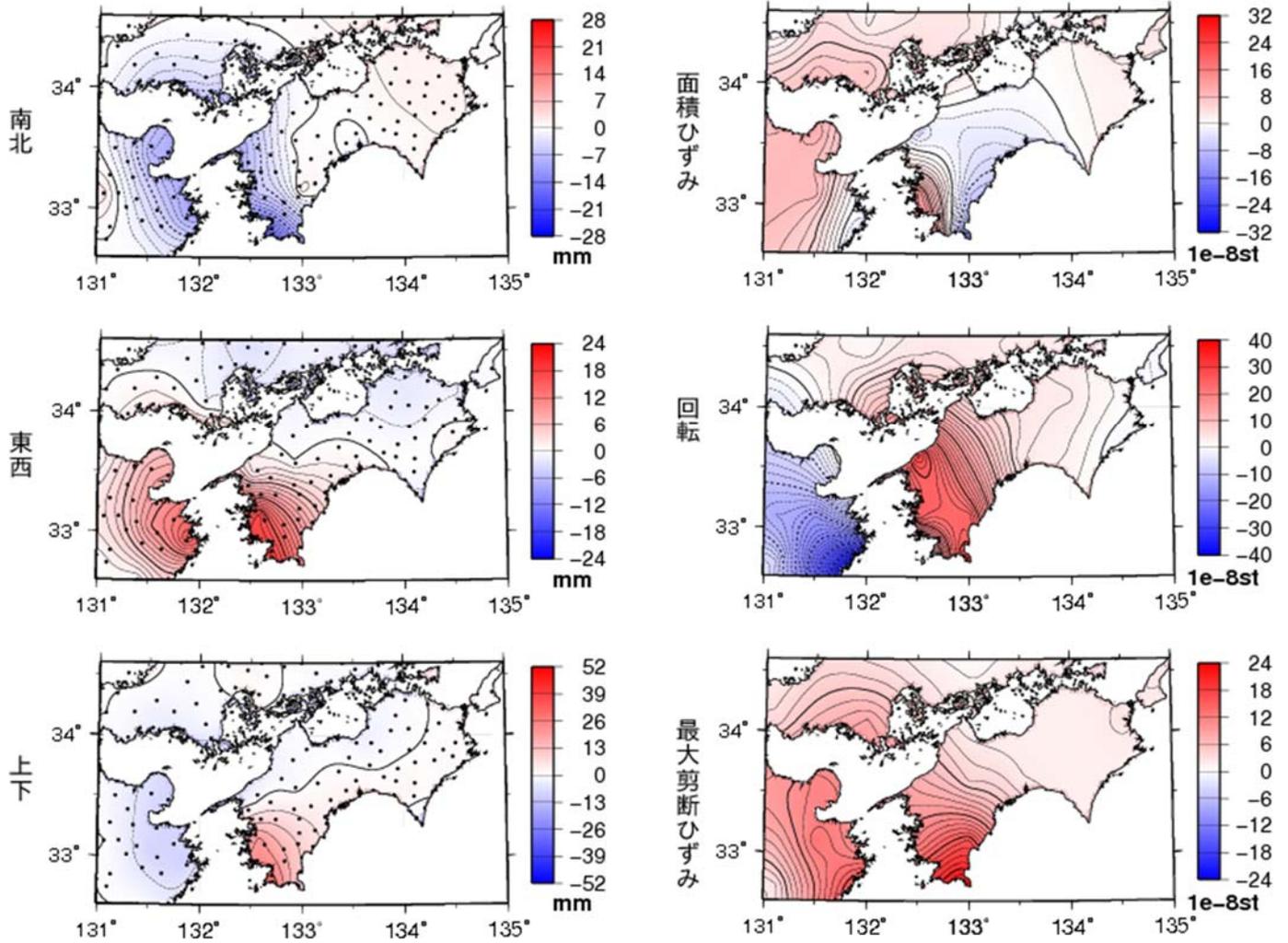


気象庁・気象研究所作成

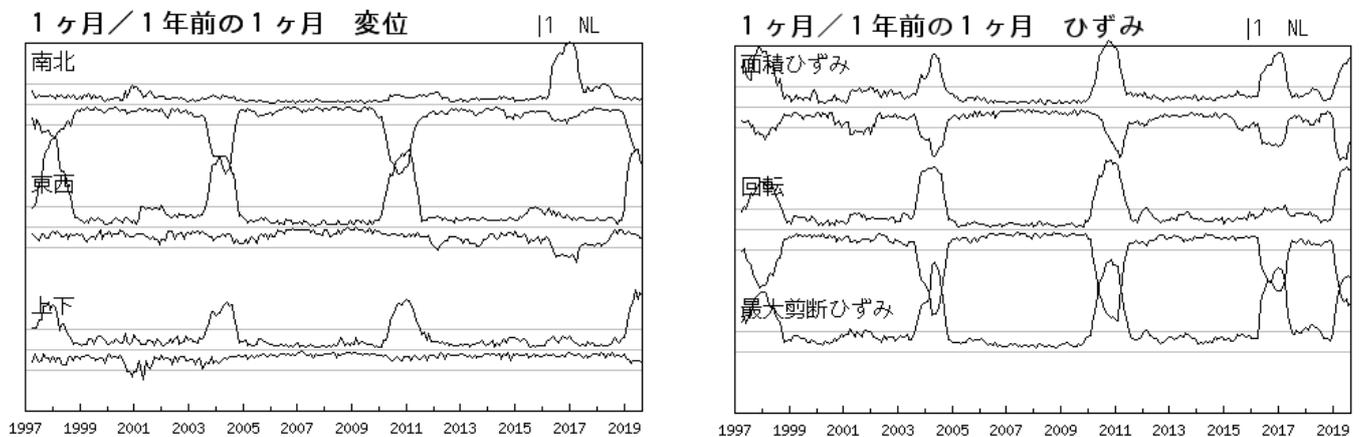
最近1年間の変位とひずみ — 四国地域 —

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2018/09/12-2018/10/12 (1年前)

対象期間：2019/09/12-2019/10/12 (30日)
 基準期間：2018/09/12-2018/10/12 (1年前)



対象範囲内の最大値の経過(1997年1月～2019年10月)

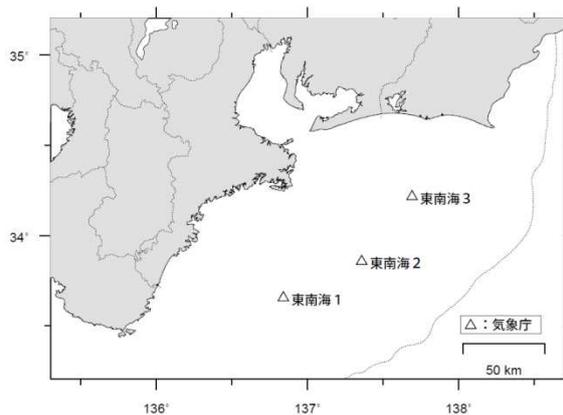
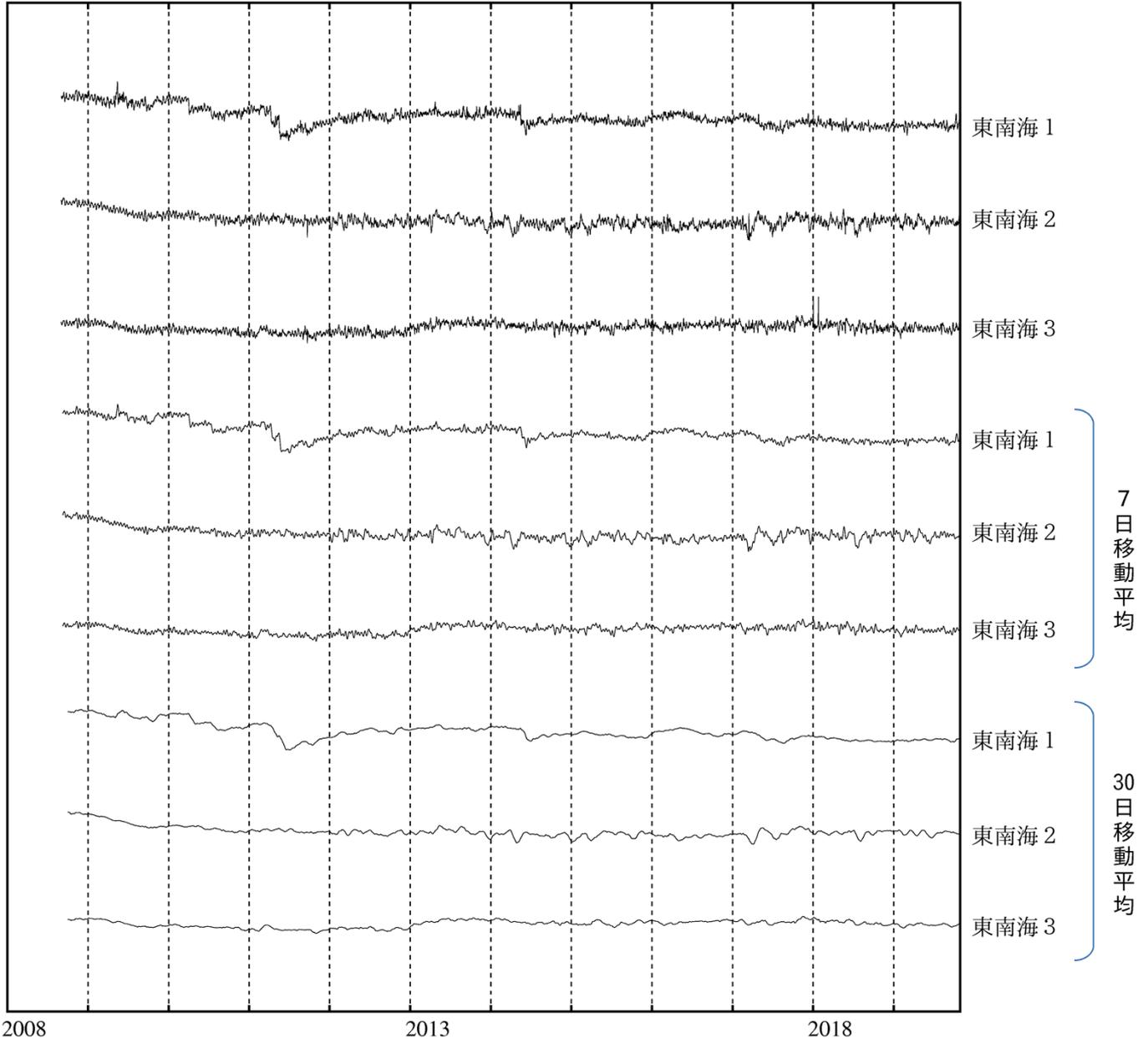


気象庁・気象研究所作成

東海・東南海地域の海底津波計記録の長期変化

海底津波計 日値 (潮汐補正データ)
2008/01/01 - 2019/10/30

隆起
↑ 1000 mm
↓ 沈降



気象庁作成